



取扱説明書

CD/USB HEAD UNIT

CDE-145J



USB

MP3 AAC



安全にお使いいただくために

各部の名称

基本操作

CD/USB メモリ/
MP3/WMA/AAC

iPod/iPhone

ラジオ

テキスト

サウンド

SETUP
(セットアップ)

取り付けと接続

その他



安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。





注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくとして正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用するとレンズの破損や故障の原因となります。



安全にお使いいただくために

USB 端子についてのご注意

- ・ 本機 USB 端子は、iPod/iPhone、USB メモリのみ接続することができます。その他の USB 対応製品は動作保証対象外となります。
- ・ USB 端子をご使用になるときは、必ず本機付属の USB ケーブルをご使用ください。USB ハブには対応しておりません。
- ・ 接続する USB メモリによっては、動作しない場合があります。また、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- ・ 本機で再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA/AAC です。
- ・ アーティスト名、曲名などの表示を行うことができますが、文字を正確に表示できない場合があります。



注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

USB メモリについてのご注意

- ・ 故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。また、USB メモリの取扱説明書もよくお読みください。
端子部には手や金属で触れない / 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない / 分解したり、改造したりしない / 水に濡らさない。
- ・ また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
高温になった車内や炎天下など気温の高い場所 / 直射日光のあたる場所 / 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所
- ・ USB メモリは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ・ USB メモリは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ・ USB メモリは、USB メモリ規格に準拠したメモリをご使用ください。ただし、規格に準拠した USB メモリを使用しても、USB メモリの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- ・ USB メモリの動作保証はしておりません。ご使用の際には、USB メモリの使用条件内でのご利用をお願いいたします。
- ・ USB メモリの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- ・ コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは再生できません。
- ・ USB メモリは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。特にオーディオデータ以外のファイルが USB メモリにある場合、再生するまでの時間やサーチ動作が著しく遅くなる場合があります。
- ・ 本機で再生可能なファイルの拡張子は“mp3” “wma” “m4a” です。
- ・ オーディオデータ以外のファイルに上記の拡張子をつけないでください。本機がオーディオデータと誤認識してしまい、大きな音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
- ・ 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。

取り扱い上のご注意 (CD)

本機で使用できるディスクについて

ディスクレーベル面に「CD ロゴ」下記マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。



CD 規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用の CD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-ReWritable)、MP3/WMA/AAC ファイル形式の CD-R / CD-RW の再生が可能です。

- ・ 次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている / 車内や製品内に長時間放置した / データ書き込み状態が不安定 / データ書き込みに失敗し再録音した場合など。
- ・ MP3/WMA/AAC ファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは 53 ページを参照してください。
- ・ 音楽ファイルの他に ROM データが混在するディスクを再生する場合、データ領域は無音状態になります。

コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) の取り扱い

故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼らない / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する / 市販のアクセサリを使わない。

特に CD-R/CD-RW は以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。

高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

CD-R/CD-RW をご使用のお客様へ

- ・ CD-R/CD-RW が再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

CD 規格外ディスクについて

オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CCCD (コピーコントロール CD) や SACD (スーパーオーディオ CD) などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

MP3/WMA/AAC のご注意

- ・ 本機で再生できる MP3/WMA/AAC は、本機対応のフォーマットで記録された USB メモリまたはディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」(53 ページ)を参照してください。
- ・ DRM (デジタル著作権管理 Digital Rights Management) で著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。
- ・ 本機はオーディオデータと MP3/WMA/AAC データが混在するディスクでも再生が可能です。
- ・ 作成したライティングソフト / MP3 変換ソフトによっては再生できない場合があります。
- ・ AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

iPod/iPhone についてのご注意

- ・ iPod/iPhone の機能については、iPod/iPhone ユーザーズガイドを参照してください。
- ・ 本製品は iPod/iPhone のビデオ再生機能には対応しておりません。
- ・ 本機で対応している iPod は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証及び性能保証は致しかねます。
 - iPod touch (4th generation): Ver.5.1.1
 - iPod nano (6th generation): Ver.1.2
 - iPod touch (3rd generation): Ver.5.1.1
 - iPod nano (5th generation): Ver.1.0.2
 - iPod classic (160 GB) (Late 2009): Ver.2.0.4
 - iPod touch (2nd generation): Ver.4.2.1
 - iPod nano (4th generation): Ver.1.0.4
 - iPod classic (120 GB): Ver.2.0.1
 - iPod touch (1st generation): Ver.3.1.3
 - iPod nano (3rd generation): Ver.1.1.3
 - iPod classic (80 GB, 160 GB): Ver.1.1.2
- ・ 本機で対応している iPhone は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証及び性能保証は致しかねます。
 - iPhone 4S: Ver.5.1.1
 - iPhone 4: Ver.5.1.1
 - iPhone 3GS: Ver.5.1.1
 - iPhone 3G: Ver.4.2.1
- ・ ご使用の iPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。

本書の見方

本機にはオーディオ調整モード、セットアップモード、サーチモードなど、設定されている時間までに何も操作をしないと操作中のモードが解除されてしまう機能があります。本書では、このような「設定時間がある操作」と「通常操作」をタイトルや手順番号のデザインで区別し、わかりやすく説明しています。

●「通常操作」の場合

「設定時間がない操作」の手順番号

リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

Memo

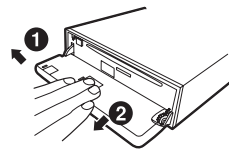
- リセットは電源が切れている状態で行なってください。

1 を押す

フロントパネルが開きます。

2 フロントパネルを外す

フロントパネルを左方向 ① にスライドさせ、手前方向 ② に引いて外します。



●「設定時間がある操作」の場合

次手順の操作を開始するまでの時間(秒数)を示しています。この場合は、60 秒以内に次手順の操作を開始してください。

「設定時間がある操作」の手順番号
手順番号を反転して示しています。

 60秒以内に操作

カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)

1 を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。

2 を廻す

< General >を選びます。



3 を押す

4 を廻す

目次

安全にお使いいただくために

警告／注意.....	2
本書の見方.....	6
「通常操作」の場合.....	6
「設定時間がある操作」の場合.....	6
目次.....	7

各部の名称

ボタン名称.....	9
------------	---

基本操作

リセットする.....	10
電源の ON/OFF.....	10
電源を入れる.....	10
電源を切る.....	10
ディスクを挿入する.....	11
ディスクを取り出す.....	11
USB ケーブルを接続する.....	11
iPod/iPhone を接続する (オプション).....	12
iPod/iPhone を接続する.....	12
iPod/iPhone を外す.....	12
USB メモリを接続する.....	12
USB メモリを外す.....	12
音楽モードを切りかえる.....	13
カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust).....	13
カレンダー／時計を表示する.....	14
お気に入りのソースを設定する.....	14
お気に入りのソースを呼び出す.....	14
オプションメニュー設定.....	14
サブウーファー／バス／トレブル／バランス／ フェダー／ディフューズ／音量を調整する.....	15
サブウーファー調整 (SubW LEVEL).....	15
バス (低音) 調整 (BASS Level) *.....	15
トレブル (高音) 調整 (TREBLE Level) *.....	15
バランス調整 (BALANCE).....	15
フェダー調整 (FADER).....	15
ディフューズ設定 (DEFEAT).....	15
音量調整 (VOLUME).....	15

CD/USB メモリ/MP3/WMA/AAC

聴きたいフォルダを選ぶ.....	16
(USB メモリ/MP3/WMA/AAC).....	16
聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ.....	16
早送り／早戻しをする.....	16
一時停止する.....	16
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス).....	16
CD/USB メモリ/MP3/WMA/AAC.....	16
解除するには.....	16
繰り返し聴く REPEAT (リピート).....	17
CD/USB メモリ/MP3/WMA/AAC.....	17
解除するには.....	17
聴きたいフォルダまたはファイルを探す (MP3/WMA/AAC).....	17
聴きたいフォルダまたはファイルを探す (USB メモリ).....	18
CD テキストから曲を探す (CD).....	18
ダイレクトサーチ機能.....	18
サーチポジションメモリー.....	19

iPod/iPhone

iPod/iPhone をコントロールする.....	20
APP Direct Mode 機能について.....	20
聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ.....	20
早送り／早戻しをする.....	20
一時停止する.....	21
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス).....	21
解除するには.....	21
曲順を変えて聴く (シャッフル・ALL).....	21
解除するには.....	21
繰り返し聴く REPEAT (リピート).....	21
解除するには.....	21
聴きたい曲を探す.....	22
ダイレクトサーチ / アルファベット サーチ機能.....	23
サーチポジションメモリー.....	24
ダイレクト UP/DOWN 機能.....	24

ラジオ

バンドを切りかえる	25
聴きたい放送局を選ぶ	25
自動で選ぶ	25
手動で選ぶ (マニュアルモード MANUAL)	25
記憶させた放送局を選ぶ	25
放送局を記憶させる	26
手動で記憶させる	26
自動で記憶させる Auto Memory (オートメモリー)	26
放送局を周波数から探す	26
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)	26

テキスト

テキスト / スクロールとは	27
テキストを表示する	27

サウンド

一時的に音量を下げる (ミュート)	29
解除するには	29
サウンド設定	29
サウンド設定項目一覧	29
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ (Factory's EQ)	30
パラメトリック EQ の調整と記憶	30
ソース別音量の調整	32
サブウーファースの接続 (Subwoofer)	32
サブウーファー出力の位相設定 (Subwoofer Phase)	32
サブウーファースの設定 (Subwoofer System)	32
外部アンプの接続 (Power IC)	32
MX モードの設定 (MX Setup)	33
MX(Media Xpander) の設定を カスタマイズする	33
タイムコレクション調整単位の設定 (TCR Parameter)	33
タイムコレクションの設定と記憶	34
音場の調整 (SPATIAL)	35
X-Over (クロスオーバー) の調整と記憶	35
タイムコレクション (時間補正) について	37
X-Over について	38

SETUP (セットアップ)

セットアップ (SETUP) する	39
設定項目一覧	40
General 時刻表示の設定 (Clock Mode)	41
カレンダー表示パターンの設定 (Calendar)	41
外部入力の設定 (AUX IN)	41
MP3/WMA/AAC 再生データ設定 (Play Mode)	42
操作音設定 (Beep)	42
デモンストレーション機能 (Demo)	42
Display 照光ボタンの色設定 (Illumination)	42
ディスプレイの明るさ調整 (Dimmer)	42
ディスプレイの明るさレベルを調整する (Dimmer Level)	42
スクロールタイプ設定 (Scroll Type)	42
テキストスクロール設定 (Text Scroll)	43
オープニングメッセージの ON/OFF (Opening MSG)	43
Tuner TUNER(FM) 音質設定 (FM Tuner Setup)	43
iPod & USB USB メモリスキップの設定	43
iPod/iPhone サーチモードの設定	43

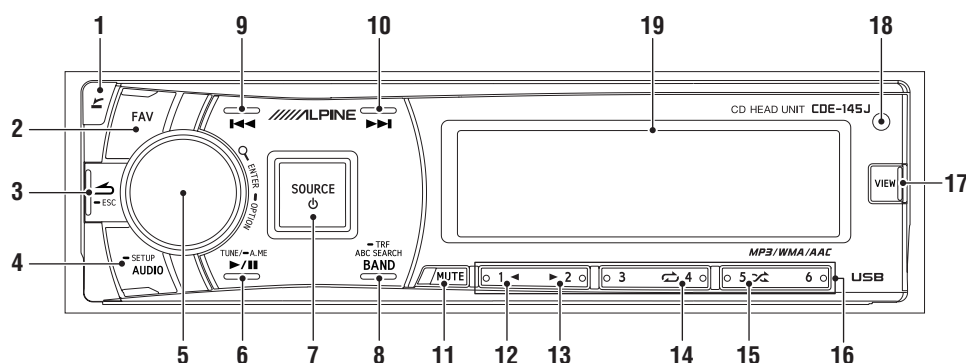
取り付けと接続

取り付けと接続	44
1. 正しい作業のコツ	44
2. 準備	44
3. 接続する	44
4. 取り付ける	45
5. 確認する	45
基本接続図	46
システムアップの例	47

その他

故障かな?と思ったら	49
規格	51
保証について	51
お問い合わせ窓口	52
MP3/WMA/AAC について	53
用語説明	53
索引	54
五十音順	54
アルファベット	55

ボタン名称



1 FAV ボタン

フロントパネルを開くときに押します。

2 FAV ボタン

お気に入りのソースを直接呼び出します。
2 秒以上押すと、お気に入りのソース設定モードを呼び出します。

3 ESC ボタン

セットアップモード／サーチモード／サウンドモード時に 1 つ前の項目に戻します。
セットアップモード／サーチモード／サウンド調整モード中に 2 秒以上押すと、各モードを解除します。

4 AUDIO・SETUP ボタン

サウンド調整モードを呼び出します。
2 秒以上押すと、セットアップモードを呼び出します。

5 ロータリーエンコーダーボタン

サブウーファー／バス／トレブル／バランス／フェーダー／ディフューズ／音量を調整します。
サーチモード／セットアップモード時の項目を選択します。

ENTER ボタン

サーチモードを呼び出します。
セットアップモード／サーチモードを確認します。
ラジオ：2 秒以上押すと周波数サーチモードを呼び出します。

OPTION ボタン

2 秒以上押すと、Option メニューを呼び出します。

6 TUNE・A. ME ボタン

チューニングモードを選びます。
2 秒以上押すと、放送局が自動的に記憶されます。

▶/II ボタン

ディスク、USB メモリ、iPod/iPhone :
再生／一時停止を切りかえます。

7 SOURCE (POWER) ボタン

電源を ON/OFF (2 秒以上押す) します。
音楽モードを切りかえます。

8 BAND・TRF ボタン

ラジオ：ラジオバンドを切りかえます。
2 秒以上押すと交通情報を受信します。

9 ◀◀ ボタン

ラジオ：周波数がダウンします。
iPod/iPhone、USB メモリ :
再生している曲の頭に戻ります。
iPod/iPhone、USB メモリ :
押し続けると早戻しします。

10 ▶▶ ボタン

ラジオ：周波数がアップします。
iPod/iPhone、USB メモリ :
次の曲に進みます。
iPod/iPhone、USB メモリ :
押し続けると早送りします。

11 MUTE ボタン

ミュートがかかります。

12 1◀ ボタン

MP3/WMA/AAC : 前のフォルダに戻ります。
iPod/iPhone : 前の Playlist/Artist/Album/Genre/Composer/Episode に切りかえます。

13 ▶2 ボタン

MP3/WMA/AAC : 次のフォルダに進みます。
iPod/iPhone : 次の Playlist/Artist/Album/Genre/Composer/Episode に切りかえます。

14 4 (REPEAT) ボタン

ディスク、USB メモリ、iPod/iPhone :
曲を繰り返し再生します。

15 5 (M.I.X.) ボタン

ディスク、USB メモリ、iPod/iPhone :
曲が順不同に再生します。

16 1 ~ 6 ボタン

ラジオ：記憶した放送局を呼び出します。

17 VIEW ボタン

テキスト表示を切りかえます。

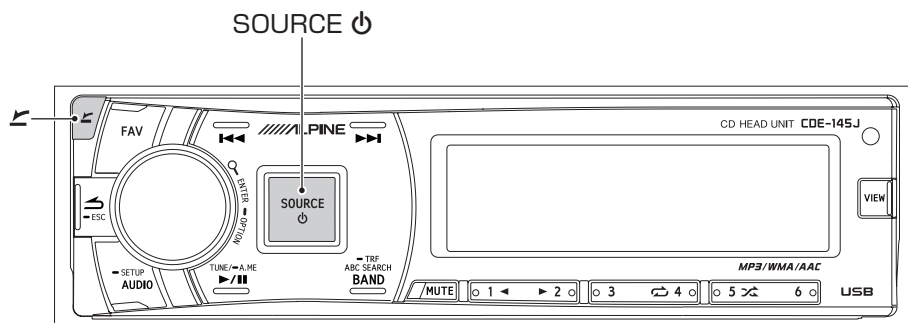
18 リモコンセンサー部

別売リモコンの信号を受信します。

19 ディスプレイ



基本操作



リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

■Memo

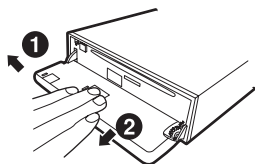
- リセットは電源が切れている状態で行ってください。

1 電源ボタンを押す

フロントパネルが開きます。

2 フロントパネルを外す

フロントパネルを左方向 ① にスライドさせ、手前方向 ② に引いて外します。

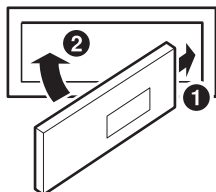


3 「リセットスイッチ」をペン先などで押す



4 フロントパネルを取り付ける

フロントパネルを右角 ① へ合わせ、左端 ② をゆっくり力チャツと音がするまで押し込みます。



■Memo

- リセットすると、ラジオの放送局など記憶した内容が消去されます。再度、登録し直してください。
- リセットすると、セットアップ (SETUP) の一部項目で設定した内容が消去されます。再度、設定し直してください。詳しくは、「セットアップ (SETUP) する」(39 ページ) を参照してください。
- フロントパネルを外す時に必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。
- 取り外したパネル (特に裏側端子部) が暖かくなっていても故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。
- フロントパネルを開いた状態で放置したり車の運転をしないでください。事故・故障の原因になります。

電源の ON/OFF

● 電源を入れる

イグニッションキー (エンジンキー) を ACC または ON にしてから操作してください。

SOURCE 電源ボタンを押す

電源が入ります。

■Memo

- 「電源」以外のどのボタンを押しても電源が入ります。また、CD を挿入しても自動的に電源が入ります。
- 電源を切る前のモードで立ち上がります。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなつてきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

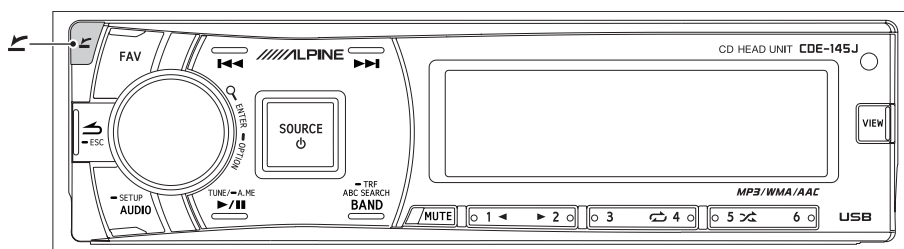
● 電源を切る

SOURCE 電源ボタンを 2 秒以上押す

電源が切れます。

■Memo

- イグニッションキーを OFF にすると本機の電源も切れます。
- 本機と接続されている iPod/iPhone の電源は連動していませんが、本機の電源が OFF になっても iPod/iPhone の電源が OFF になるまで、数分がかかる場合があります。

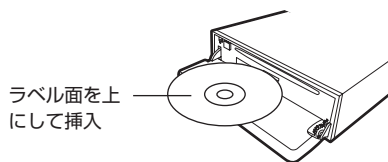


ディスクを挿入する

1 開くを押す

フロントパネルが開きます。

2 ディスクを挿入する

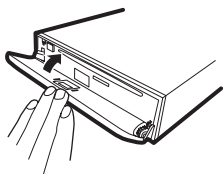


ラベル面を上
にして挿入

ディスクを挿入すると再生を開始します。

3 フロントパネルを閉じる

フロントパネルをカチッと音がするまで持ち上げます。



※ フロントパネルを閉じる時は、上図のようにフロントパネルの左上側部分を押し込んでください。

■Memo

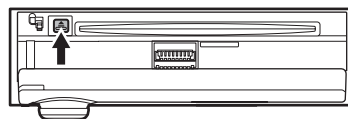
- シングル CD (8cmCD) は使用できません。アダプターを使用した場合も使用できません。
- 再生されるまで時間がかかる場合があります。
- フロントパネルが開いた状態では走行しないください。事故・故障の原因になります。

ディスクを取り出す

1 開くを押す

フロントパネルが開きます。

2 開くを押す



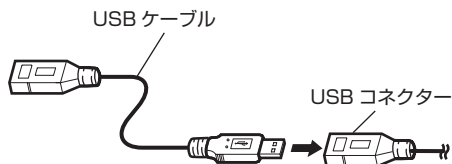
3 フロントパネルを閉じる

■Memo

- ディスクは必ず取り出してください。
- フロントパネルが開いた状態では走行しないください。事故・故障の原因になります。

USB ケーブルを接続する

USB コネクターと USB ケーブルを接続する。



■Memo

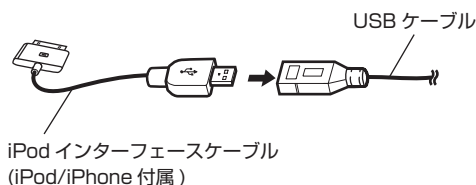
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。



iPod/iPhone を接続する(オプション)

● iPod/iPhone を接続する

1 USB ケーブルに iPod インターフェースケーブルを接続する



2 iPod インターフェースケーブルと iPod/iPhone を接続する

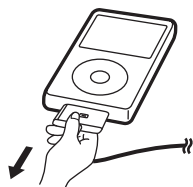


■ Memo

- 運転中は iPod/iPhone を接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 運転中は iPod/iPhone のイヤホンを使用しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 再生中の iPod/iPhone を本機に接続して USB iPod モードにすると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。
- iPod/iPhone のバッテリーが空の場合でも本機に接続すると、iPod/iPhone を認識できます。同時に充電を行います。充電状態によっては再生まで時間がかかる場合があります。

● iPod/iPhone を外す

iPod インターフェースケーブルから iPod/iPhone を外す

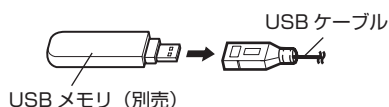


■ Memo

- 運転中は iPod/iPhone を外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB iPod モード以外のソースに切りかえてから iPod/iPhone を取り外してください。USB iPod モード中に取り外すとデータが破損する場合があります。
- iPod/iPhone のディスプレイに「接続を解除できます」の表示が出ていれば、いつでも取り外しは可能です。

USB メモリを接続する

USB ケーブルに USB メモリを接続する

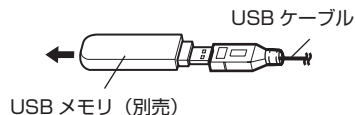


■ Memo

- 運転中は USB メモリを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB メモリを接続しても音が出ないときや USB メモリを認識しない場合は、一度 USB メモリを外して再接続してください。

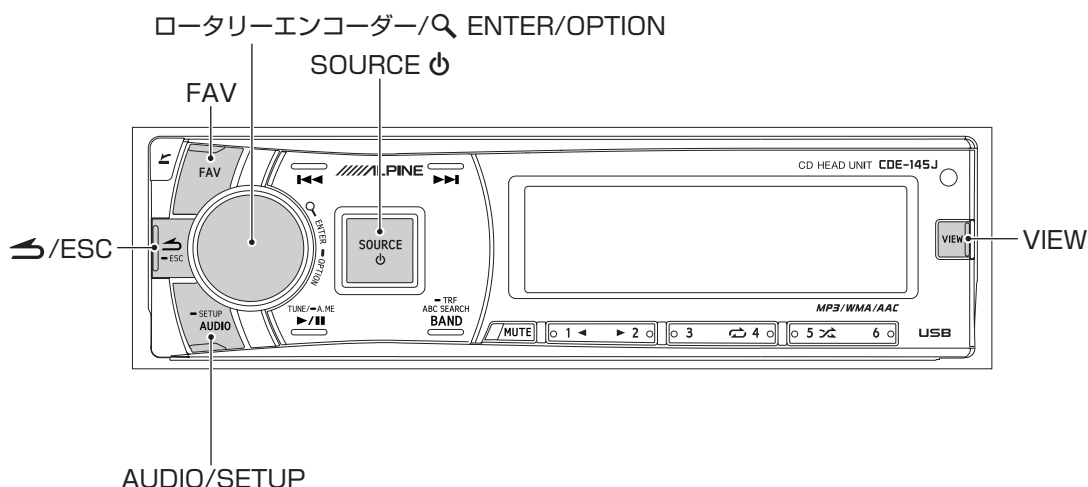
● USB メモリを外す

USB ケーブルから USB メモリを外す



■ Memo

- 運転中は USB メモリを外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB メモリを取り外す時には、USB メモリを真っ直ぐ引き抜いてください。
- USB メモリモード以外のソースに切りかえるか、一時停止 (PAUSE) 状態で USB メモリを取り外してください。USB メモリモード中に取り外すとデータが破損する場合があります。



音楽モードを切りかえる

SOURCE を繰り返し押す

音楽モードを選びます。

モード表示	モード名
Tuner	ラジオ
Disc ^{※1}	CD, MP3/WMA/AAC
USB	USB メモリ
iPod ^{※2}	iPod/iPhone
Auxiliary ^{※3}	AUX

※ 1 ディスクを挿入すると自動的に DISC モードになります。

※ 2 USB 端子に iPod/iPhone を接続した場合は、< iPod > と表示されます。

※ 3 表示の設定については、「外部入力の設定 (AUX IN)」(41 ページ) が ON のときにのみ設定できます。

Memo

- iPod/iPhone、USB メモリは別売です。
- USB 端子に何も接続されていない場合は、モード名は < No USB Unit > と表示されます。
- ラジオモードにすると、車両のアンテナが伸びます。(パワーアンテナ装着車のみ)

60秒以内に操作

カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)

1 **SETUP AUDIO** を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。

2 **VIEW** を廻す

< General > を選びます。



3 **ENTER/OPTION** を押す

General セットアップ 項目選択モードになります。

4 **VIEW** を廻す

< Clock Adjust > を選びます。



5 **ENTER/OPTION** を押す

6 **VIEW** を廻す

「年」を調整します。



7 **ENTER/OPTION** を押す

8 手順 6 と 7 を繰り返し行い、「月」、「日」、「時」、「分」を調整する

Memo

- 時報に合わせたいときは「時」設定後に「ENTER/OPTION」を 2 秒以上押すと、「分」の表示が <00> になります。30 分を超えているときは「時」の表示が繰り上がり「分」の表示が <00> になります。

9 **SETUP AUDIO** を 2 秒以上押す

時計の調整が終了し、元のモードに戻ります。

Memo

- セットアップ中に「ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。



基本操作

カレンダー／時計を表示する

VIEW を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。カレンダー／時計表示を選びます。

■表示例（CD モード時）



■Memo

- 表示モードの切りかえについて詳しくは、「テキストを表示する」（27 ページ）を参照してください。
- カレンダー／時計を表示している状態でラジオ、CD などを操作すると、行った操作を 5 秒間表示した後、時計表示に戻ります。

10秒以内に操作

お気に入りのソースを設定する

お気に入りのソースを簡単に呼び出すことができます。

1 FAV を 2 秒以上押す

FAV 設定モードになります。

2 を廻し、お気に入りのソースを選びます

変更する設定項目を選びます。

OFF / FM1 / FM2 / AM / Disc / USB/iPod / AUX

3 を押す

元のモードに戻ります。

■Memo

- セットアップモードでお気に入りのソースを設定することもできます。
- お気に入りソースモードを使用しない場合は、「OFF」を選んでください。

お気に入りのソースを呼び出す

一度ソースを FAV ボタンに設定すれば、FAV ボタンを押してソースを直接呼び出すことができます。

■Memo

- 設定によっては、ソースをお気に入りの設定してもお使いにならないときがあります。例えば AUX をお気に入りのソースにした場合、AUX IN を OFF に設定すると、「(外部入力の設定 (AUX IN))」(41 ページ)を参照してください) AUX ソースは「FAV」を押しても呼び出されません。

オプションメニュー設定

オプションメニューからすばやく現在のソースの設定項目を調整することができます。

1 を 2 秒以上押す

現在のソースのオプションメニュー表示されます。

2 を廻す

変更する設定項目を選びます。

3 を押す

4 を廻す

設定内容の表示が切りかわります。

5 を押す

元のモードに戻ります。

■ソースによってオプションメニューが異なります。それぞれのオプションメニューは下表を参照してください。

ソースモード	内容
TUNER	Tuner Setup ^{*1} ↔ VOL LV ADJ ^{*2} ↔ MX Setup ^{*3} ↔ Tuner Setup
CD	CD Setup ^{*4} ↔ VOL LV ADJ ^{*2} ↔ MX Setup ^{*3} ↔ CD Setup
USB AUDIO	USB Setup ^{*5} ↔ VOL LV ADJ ^{*2} ↔ MX Setup ^{*3} ↔ USB Setup
iPod	APP Direct ^{*6} ↔ iPod Setup ^{*7} ↔ VOL LV ADJ ^{*2} ↔ MX Setup ^{*3} ↔ APP Direct
AUX	AUX Setup ^{*8} ↔ VOL LV ADJ ^{*2} ↔ MX Setup ^{*3} ↔ AUX Setup

※ 1 「TUNER (FM) 音質設定 (FM Tuner Setup)」(43 ページ)を参照してください。

※ 2 現在のソースの音量レベルを調整することができます。この設定値は「ソース別音量の調整」(32 ページ)と連動します。

※ 3 「MX モードの設定 (MX Setup)」(33 ページ)を参照してください。

※ 4 「Play Mode」を選択することができます。「MP3/WMA 再生データ設定 (Play Mode)」(42 ページ)を参照してください。

※ 5 「USB メモリスキップの設定」(43 ページ)を参照してください。

※ 6 「iPod/iPhone をコントロールする」(20 ページ)を参照してください。

※ 7 iPod/iPhone のサーチモードを設定することができます。「iPod/iPhone サーチモードの設定」(43 ページ)を参照してください。

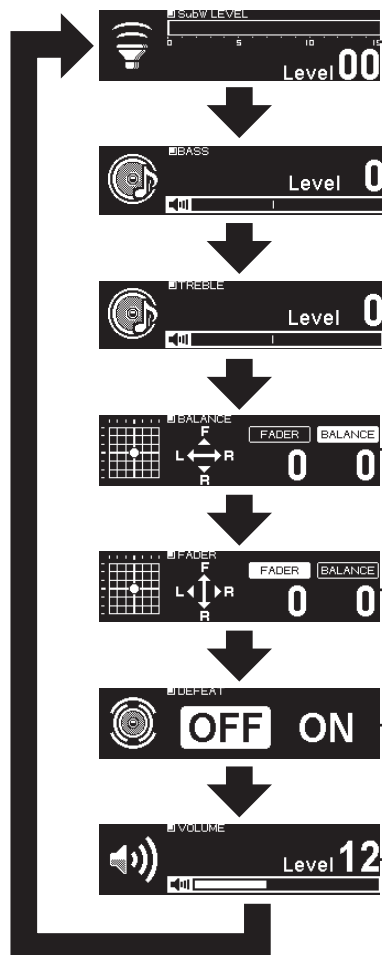
※ 8 AUX Name を選択することができます。「外部入力の設定 (AUX IN)」(41 ページ)を参照してください。

5秒以内に操作

サブウーファー／バス／トレブル／ バランス／フェダー／ディフィート ／音量を調整する

1 を繰り返し押す

調整したいモードを選びます。



2 を廻す

好みのレベルに調整します。

● サブウーファー調整 (SubW LEVEL)

サブウーファー出力を調整します。

設定内容：00 ～ 15（出荷時の設定：00）

■ Memo

- 「サブウーファーの接続 (Subwoofer)」(32 ページ) の設定が OFF に設定されている場合は、調整できません。

● バス (低音) 調整 (BASS Level) ※

低音域を強めたり、弱めたりします。

設定内容：- 7 ～ + 7（出荷時の設定：± 0）

● トレブル (高音) 調整 (TREBLE Level) ※

高音域を強めたり、弱めたりします。

設定内容：- 7 ～ + 7（出荷時の設定：± 0）

● バランス調整 (BALANCE)

左右のスピーカー音量を調整します。

設定内容：- 15 (L) ～ 15 (R)（出荷時の設定：センター）

● フェダー調整 (FADER)

前後のスピーカー音量を調整します。

設定内容：- 15 (R) ～ 15 (F)（出荷時の設定：センター）

● ディフィート設定 (DEFEAT)

ON に設定するとバス／トレブルの設定を初期値に戻します。

設定内容：ON/OFF（出荷時の設定：OFF）

● 音量調整 (VOLUME)

音量を調整できます。

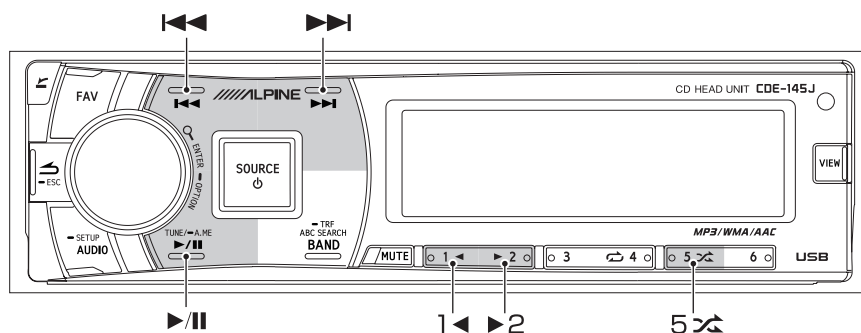
設定内容：00 ～ 35（出荷時の設定：12）

■ Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障、または聴力障害の原因になります。

お知らせ

- 音量調整 (VOLUME) は、VOLUME モードを選択せずにロータリーエンコーダーを廻すだけで調整することができます。
- ※ バス (低音) 調整、トレブル (高音) 調整は、DEFEAT が ON のときは調整できません。



聴きたいフォルダを選ぶ (USBメモリ/MP3/WMA/AAC)

1 ◀ を押す

前のフォルダに戻ります。

▶ 2 を押す

次のフォルダに進みます。
選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

Memo

- 「1 ◀」または「▶ 2」を押し続けると、フォルダが連続で切りかわります。

聴きたい曲（ファイル）を選ぶ

◀◀ を押す

再生中の曲（ファイル）の頭に戻ります。続けて押すと前の曲（ファイル）の頭出しをします。

▶▶ を押す

次の曲（ファイル）に進みます。

Memo

- USBメモリ時、VBR（Variable Bit Rate）で記録されたファイルを再生したとき、正確な再生時間を表示できない場合があります。

早送り／早戻しをする

◀◀ を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

▶▶ を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を押す

<⏸/PAUSE>を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲（ファイル）を順不同に再生させることができます。音楽モードによってミックス再生の種類が異なります。それぞれのミックス再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	ミックス再生モード <インジケータ表示>	
CD	M.I.X. All < MIX ALL >	—
USBメモリ/MP3/WMA/AAC	M.I.X. Folder < MIX □ >	M.I.X. All < MIX ALL >

● CD/USBメモリ/MP3/WMA/AAC

5 🔁 を繰り返し押す

<M.I.X. All>、<M.I.X. Folder>を表示し、<MIX ALL>、<MIX □>インジケータが点灯します。

M.I.X. FOLDER :

フォルダ内のファイルを順不同に再生します。

M.I.X. ALL :

CD/USBメモリ/MP3/WMA/AAC内の全曲を順不同に再生します。

USBモードでのM.I.X. ALL再生は、次の曲をUSBメモリ内すべての曲からランダムに選択するため、同じ曲が続いて再生される場合もあります。

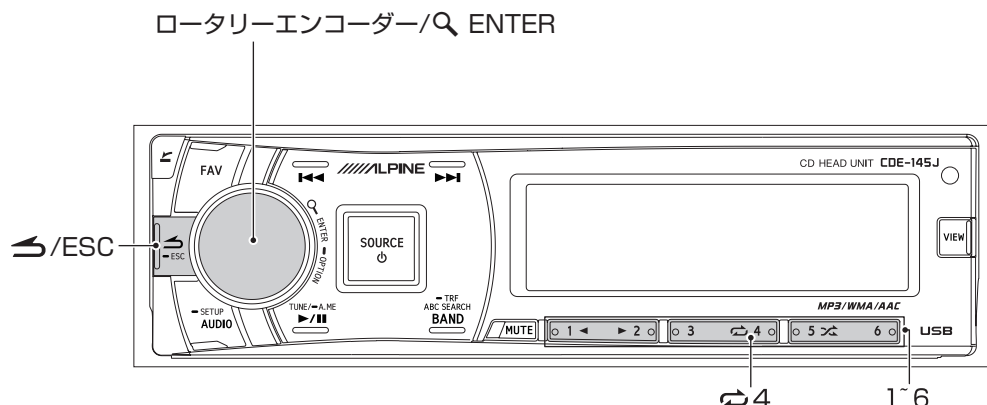
■表示例（MP3/WMA/AAC : M.I.X. FOLDER）



● 解除するには

5 🔁 を繰り返し押す

<M.I.X. OFF>を表示し、通常の再生に戻ります。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

曲（ファイル）を繰り返し再生させることができます。音楽モードによってリピート再生の種類が異なります。それぞれのリピート再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	リピート再生モード <インジケータ表示>	
CD	Repeat One < RPT >	—
USB メモリ / MP3/WMA/ AAC	Repeat One < RPT >	Repeat Folder < RPT □ >

● CD/USB メモリ/MP3/WMA/AAC

4 を繰り返し押す

<Repeat One> または <Repeat Folder> を表示し、<RPT> または <RPT □> インジケータが点灯します。

REPEAT ONE :

再生中の曲（ファイル）を繰り返し再生します。

REPEAT FOLDER :

フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。

■表示例（MP3/WMA/AAC : REPEAT FOLDER）



● 解除するには

4 を繰り返し押す

<Repeat OFF> を表示し、通常の再生に戻ります。

60秒以内に操作

聴きたいフォルダまたはファイルを探す（MP3/WMA/AAC）

ディスク内のフォルダまたはファイルを検索し再生することができます。

1 を押す

サーチ選択モードになり、前回サーチしたモード名が表示されます。

2 を廻す

< Folder > または < File > を選びます。



Folder : フォルダサーチ ⇒ 手順3へ

File : ファイルサーチ ⇒ 手順5へ

3 を押す

フォルダサーチモードになり、フォルダ名が表示されます。



4 を廻す

希望のフォルダを選びます。

5 を押す

ファイルサーチモードになり、ファイル名が表示されます。



■Memo

- 「Q ENTER」を2秒以上押すと、選択したフォルダのすべてのファイルを再生することができます。

60秒以内に操作

6 〇 を廻す

希望のファイルを選びます。

7 〇 を押す

選択したファイルを再生します。

60秒以内に操作

聴きたいフォルダまたはファイルを探す (USB メモリ)

USB メモリ内のフォルダまたはファイルを検索し再生することができます。この操作はパソコンからフォルダ/ファイルを検索するように似ています。

1 〇 を押す

サーチモードになり、フォルダ名/ファイル名が表示されます。

2 〇 を廻す

希望のフォルダ/ファイルを選びます。

3 〇 を押す

手順2で選んだフォルダ/ファイルが決定されます。
ファイルを選んで決定した場合は、選んだファイルが再生されます。
フォルダを選んで決定した場合は、フォルダの中のフォルダ/ファイルが表示されます。手順4に進みます。

Memo

- 「**Q** ENTER」を2秒以上押すと、選んだフォルダの全てのファイルを再生することができます。

4 希望のファイルを決するまで、手順2～3を繰り返します。

Memo

- サーチモード中に「**ESC**」を押すと、1つ前の項目に戻ります。サーチ選択モード中は「**ESC**」を2秒以上押すとサーチ選択モードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にフォルダ/ファイルサーチを行うとM.I.X. モードは解除されます。
- ルートフォルダは< \ROOT >表示になります。
- ダイレクトサーチが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ機能」(18ページ)を参照してください。
- USB メモリスキップ機能を利用して、素早く希望のフォルダ/ファイルを探すことができます。詳しくは「USB メモリスキップの設定」(43ページ)を参照してください。

CD テキストから曲を探す (CD)

CD テキストから曲(トラック)を検索し再生することができます。

1 〇 を押す

サーチモードになり、現在のテキスト No. が表示されます。

Track 001
Track 002
Track 003

2 〇 を廻す

希望の曲を選びます。

3 〇 を押す

選択した曲を再生します。

Memo

- サーチモード中に「**ESC**」を押すと、サーチモードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にテキストサーチを行うとM.I.X. モードは解除されます。
- ダイレクトサーチが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ機能」(18ページ)を参照してください。

ダイレクトサーチ機能

本機にはより効率よく検索するために、ダイレクトサーチ機能が用意されています。それぞれのサーチモード時に利用することで、探したいCDテキスト/フォルダ/ファイルなどをすばやく探し出すことができます。

ここでは、SONGサーチを例に説明します。例えば、CD/USBメモリに100曲収録されているとします。この100曲が下表のように6分割され、本機のプリセットボタン「1」～「6」に割り当てられます。

曲	全 100 曲					
	1 曲目	17 曲目	33 曲目	50 曲目	67 曲目	83 曲目
スイッチ	0%	17%	33%	50%	67%	83%
1 (0%)	1					
2 (17%)		2				
3 (33%)			3			
4 (50%)				4		
5 (67%)					5	
6 (83%)						6

1  のい

ずれかを押す

指定された場所へジャンプします。

聴きたい曲が 80 曲目ぐらいに収録されていると仮定した場合、「6」を押します。

2  を廻す

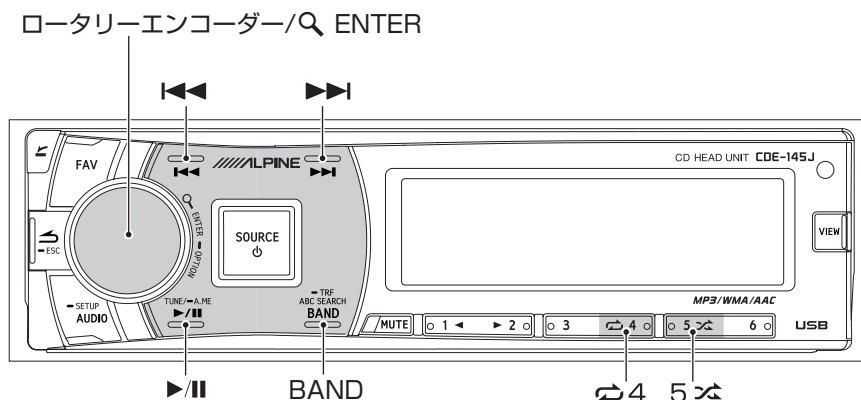
希望の曲名を選びます。

サーチポジションメモリー

再生時、サーチモードで最後に曲を決定した階層にすぐに戻ることができます。

 を押す

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。



iPod/iPhone をコントロールする

- iPhone を本機に接続すると iPod として使用することができます。
- iPod touch/iPhone を本機に接続中でも、電話機能やインターネット機能は iPod touch/iPhone 本体を操作して使用することができます。

iPod/iPhone を接続する時、iPod/iPhone または本機から操作することができます。

1 iPod ソースモードで、 を 2 秒以上押す

iPod のオプションメニューを呼び出します。

2 を廻す

< APP Direct > を選びます。

3 を押す

iPod Mode と HU Mode を切りかえます。

iPod Mode :

iPod/iPhone 本体から操作することができます。

■ Memo

- iPod/iPhone 本体の操作は、同乗者の方の操作か、車を安全な場所に停車して操作を行なってください。

HU Mode :

本機から操作することができます。

■ Memo

- HU Mode 中に「BAND」を押すと、iPod Mode モードを切りかえることができます。
- コントロールモードを変更すると、再生が一時停止します。再度「▶/||」を押すと再生を開始します。
- 接続する iPod/iPhone によっては、iPod Mode を選択できない場合があります。または、iPod Mode を選択しても、本機からの操作が必要な場合があります。

APP Direct Mode 機能について

本機に iPod/iPhone を接続時、iPod ソースモードを選択する事で iPod/iPhone 本体での操作が可能となります。APP Direct Mode の場合は、iPod 側に任意の APP (iPod Music 含み) 表示と操作をすることができます。又、本機に接続されたスピーカーから音声を出力することができます。

聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ

を押す

再生中の曲 (ファイル) の頭に戻ります。続けて押すと前の曲 (ファイル) の頭出しをします。

を押す

次の曲 (ファイル) に進みます。

■ Memo

- Podcast の Episode 及び Audiobook がチャプター対応の場合は、「◀◀」または「▶▶」で選択することができます。

早送り／早戻しをする

を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する



を押す

< II/PAUSE > を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲 (ファイル) を順不同に再生させることができます。

音楽モード	ミックス再生モード <インジケータ表示>	
iPod	M.I.X. Album < MIX >	M.I.X. Song < MIX >

5 繰り返すを押す

< M.I.X. Album > または < M.I.X. Song > を表示し、< MIX >、< MIX > インジケータが点灯します。

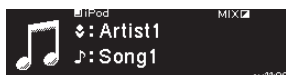
M.I.X. Album (シャッフル・アルバム) :

iPod/iPhone 内のすべてのアルバムを順不同に選択し、選択したアルバム内の曲を曲順通りに再生します。

M.I.X. Song (シャッフル・ソング) :

サーチモードから曲を再生している場合、選択したサーチモード内すべての曲を順不同に再生します。

■表示例 (M.I.X. Album)



■Memo

- Album サーチモードで曲を選んでいる場合、M.I.X. ALBUM (シャッフル・アルバム) 再生はできません。

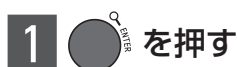
解除するには

5 繰り返すを押す

< M.I.X. OFF > を表示し、通常の再生に戻ります。

曲順を変えて聴く (シャッフル・ALL)

iPod/iPhone 内の全曲を順不同に再生させることができます。



を押す

サーチ選択モードになります。

2 を回す

< Shuffle All > を選びます。



を押す

< Shuffle All > を表示し、< MIX ALL > インジケータが点灯します。

■表示例



■Memo

- サーチモードから曲を再生している場合、Shuffle All を選択すると、サーチで選択した内容は解除されます。

解除するには

5 繰り返すを押す

< M.I.X. OFF > を表示し、通常の再生に戻ります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

曲 (ファイル) を繰り返し再生させることができます。

4 を押す

< Repeat One > を表示し、< RPT > インジケータが点灯します。

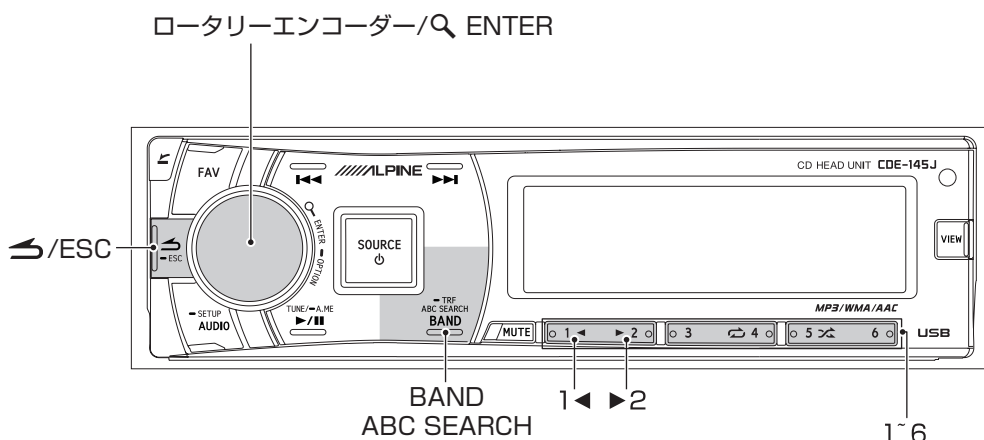
解除するには

4 を押す

< Repeat OFF > を表示し、通常の再生に戻ります。

■Memo

- 接続する iPod によっては、リピート再生中は「」、「」を押して他の曲を選ぶことができない場合があります。



聴きたい曲を探す

60秒以内に操作

iPod/iPhone には数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではサーチ機能を使用して様々な検索を行うことができます。

検索には大きく 9 つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
Playlist	Song	—	—
Artist	Album	Song	—
Album	Song	—	—
Song	—	—	—
Podcast * 1	Episode	—	—
Genre	Artist	Album	Song
Composer	Album	Song	—
Audiobook	—	—	—
Genius Mix list * 2 / * 3	—	—	—

※ 1 iPod/iPhone によっては、Podcast サーチができない場合があります。

※ 2 iPod/iPhone によっては、Genius Mix サーチができない場合があります。

※ 3 iTunes で作成した Genius Mix List を搭載している iPod/iPhone が本機に接続されている場合、Genius Mix サーチモードはソングリスト再生に使用することができます。

ここでは、アーティストサーチを例に説明します。ほかのサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

■Memo

- お好みのサーチモードを選択することができます。詳しくは、「iPod/iPhone サーチモードの設定」(43 ページ)を参照してください。

1 を押す

サーチ選択モードが表示されます。



2 を回す

< Artist > を選びます。



3 を押す

Artist サーチモードになり、アーティスト名がリスト表示されます。



4 を回す

希望のアーティストを選びます。

■Memo

- ダイレクトサーチ / アルファベットサーチが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ / アルファベットサーチ機能」(23 ページ)を参照してください。

5 を押す

Album サーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。



次ページに続く→

■ Memo

- 「Q ENTER」を2秒以上押すと、選択したアーティストのすべての曲を再生することができます。

6 ● を廻す

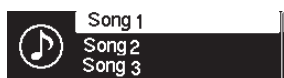
希望のアルバムを選びます。

■ Memo

- ダイレクトサーチ / アルファベットサーチが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ / アルファベットサーチ機能」(23ページ)を参照してください。

7 ● を押す

Song サーチモードになり、曲名がリスト表示されます。



■ Memo

- 「Q ENTER」を2秒以上押すと、選択したアルバムのすべての曲を再生することができます。

8 ● を廻す

希望の曲を選びます。

■ Memo

- ダイレクトサーチが使えます。詳しくは、「ダイレクトサーチ機能」(23ページ)を参照してください。

9 ● を押す

選択した曲が再生されます。

■ Memo

- サーチモード中に「ESC」を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- シャッフル (M.I.X.) 再生中にサーチ機能を使用すると、シャッフル (M.I.X.) モードは解除されます。
- Playlist (プレイリスト) サーチの場合、iPod/iPhone に登録してある「iPod 名」が表示されます。iPod 名を選択して「Q ENTER」を押すと、Song サーチモードになり iPod/iPhone 内のすべての曲を検索できます。iPod 名を選択して「Q ENTER」を2秒以上押すと、iPod/iPhone 内のすべての曲を繰り返し再生します。
- サーチモード中 AII を選択して「Q ENTER」を2秒以上押すと、iPod/iPhone または選択したアイテムのすべてのタイトルを繰り返し再生します。

● ダイレクトサーチ / アルファベットサーチ機能

本機にはより効率よく検索するために、ダイレクトサーチ / アルファベットサーチ機能が用意されています。それぞれのサーチモード時に利用することで、探したいアーティストや曲などをすばやく探し出すことができます。

ここでは、Song サーチを例に説明します。

ダイレクトサーチ機能

例えば、iPod/iPhone に 100 曲収録されているとします。この 100 曲が下表のように6分割され、本機のプリセットボタン「1」～「6」に割り当てられます。

曲	全 100 曲					
	1 曲目	17 曲目	33 曲目	50 曲目	67 曲目	83 曲目
スイッチ	0%	17%	33%	50%	67%	83%
1 (0%)	1					
2 (17%)		2				
3 (33%)			3			
4 (50%)				4		
5 (67%)					5	
6 (83%)						6

1 ずれかを押す

指定された場所へジャンプします。

聴きたい曲が 80 曲目ぐらいに収録されていると仮定した場合は、「6」を押します。

2 ● を廻す

希望の曲名を選びます。

■ Memo

- アルファベットサーチをした場合は、操作できません。

アルファベットサーチ機能

アルファベットのサーチ機能を利用して、最初の文字でアルバム、曲等を検索することができます。

希望のタイトル (アルバム、曲等) の最初の文字を選択して、この文字で始まるタイトルが一覧表示されます。

1 サーチモードで、● を押す

アルファベット選択リストが表示されます。

2 ● を廻す

希望のアルファベットを選びます。(例:[M]を選ぶ)

3 ● を押す

「M」で始まるタイトルが表示されます。

4 を廻して希望のタイトルを選ぶ

■ Memo

- サーチモード中に [・ESC] を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- Playlist サーチモードでソングサーチすると、アルファベットサーチ機能はソングサーチの階層では使用できません。
- Genius Mix list を選択した場合は、操作できません。

サーチポジションメモリー

再生時、サーチモードで最後に曲を決定した階層にすぐに戻ることができます。

を押す

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。

ダイレクト UP/DOWN 機能

「聴きたい曲を探す」(22 ページ) で選択したアイテム (Album など) を再生している場合、簡単な操作で聴きたいアイテムに切りかえることができます。

例えば、任意の Album に絞り込んでお聴きの場合は、ほかの Album に切りかえることができます。

を押す

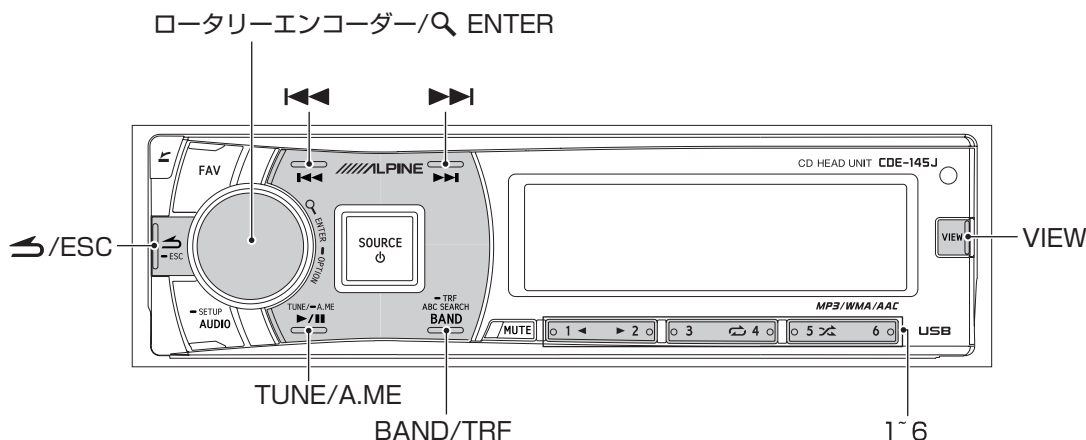
前のアイテムに戻ります。

を押す

次のアイテムに進みます。

■ Memo

- Playlist/Artist/Album/Podcast/Genre/Composer/Audiobook (Podcast と Audiobook は、エピソードの切りかえになります。) サーチをしていない場合は、操作できません。
- Song サーチをした場合は、操作できません。
- タイプの異なるアイテムを選択することはできません。
- シャッフル (M.I.X.) 再生中は、操作できません。(Podcast と Audiobook の場合は除く。)



バンドを切りかえる

を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → AM → FM1…

聴きたい放送局を選ぶ

● 自動で選ぶ

現在受信できる放送局を自動で探索し、受信します。

放送局を自動で選ぶには、2つのモードがあります。

DX (ディスタンスモード) :

受信可能な放送局を自動で受信します。工場出荷時はディスタンスモードに設定されています。

LOCAL (ローカルモード) :

電波の強い放送局だけを自動で受信します。

1 **を繰り返し押す**

< DX > または < LOCAL > インジケーターを表示させます。

■ 表示例 (DX モード)



2 **または** **を押す**

■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができない場合があります。

● 手動で選ぶ (マニュアルモード MANUAL)

1 段階ずつ周波数が変わります。

1 **を繰り返し押す**

< Manual > を表示させます。



2 **を繰り返し押す**

周波数がダウンします。

押し続けると連続で周波数がダウンします。

を繰り返し押す

周波数がアップします。

押し続けると連続で周波数がアップします。

■ Memo

- FM ラジオは 0.1 MHz、AM ラジオは 9 kHz ずつ変わります。

● 記憶させた放送局を選ぶ

あらかじめ記憶 (プリセットメモリー) されている放送局を選んで受信します。

1 2 3 4 5 6 のいずれかを押す

選択した放送局が受信されます。



■ Memo

- 放送局を記憶させる操作については、「放送局を記憶させる」(26 ページ) を参照してください。

放送局を記憶させる

10秒以内に操作

● 手動で記憶させる

1 記憶させたい放送局に周波数を合わせる

2 、、 のいずれかを 2 秒以上押す

押された No. に放送局が記憶されます。

■ Memo

- 放送局は 18 局まで記憶できます。
FM1…6 局、FM2…6 局、AM…6 局
- すでに記憶されている No. に記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

● 自動で記憶させる Auto Memory (オートメモリー)

1  を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → AM → FM1…

2  を 2 秒以上押す

< AUTO MEMORY > を表示し、自動選局を開始します。

電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶されます。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信されます。

■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、AUTO MEMORY での自動受信ができない場合があります。放送局を 1 つも受信（記憶）できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

放送局を周波数から探す

放送局を周波数から検索することができます。

1  を押す

周波数サーチモードになります。



2  廻す

放送局（周波数）を選びます。

3  を押す

選択した周波数の放送局を受信します。

■ Memo

- サートモード中に「・ESC」を押すと、サーチモードは解除されます。

道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

1  を 2 秒以上押す

TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz または、1629kHz の交通情報を受信します。



2  または  を押す

1620kHz / 1629kHz を切りかえます。

■ Memo

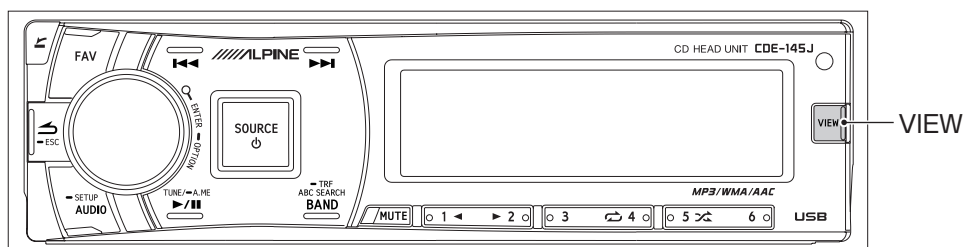
- 交通情報を行っている地域に合わせて周波数を切りかえてください。

3  を 2 秒以上押す

TRF モードを終了し、元のモードに戻ります。

■ Memo

- CD、ラジオなど、全てのモードで交通情報を受信できます。



テキスト / スクロールとは

この説明書で使用する「テキスト」、「スクロール」について説明します。

■ テキストとは

あらかじめ CD に入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

■ テキスト入力表示一覧

		入力	表示
テキスト	MP3/WMA/AAC	×	○*
	CD	×	○*
対応文字	英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字		

※ MP3/WMA/AAC ディスクの場合は、フォルダ名／ファイル名／タグ情報の表示ができます。ファイル名／フォルダ名は、ライティングソフトによっては「全角文字」が表示できない場合があります。

■ スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「Manual モード」とスクロールを繰り返す「Auto モード」を搭載しています。CD テキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみスクロール表示します。

■ Memo

- マニュアルモード時に再スクロールを行う場合、「VIEW」を 2 秒以上押します。

テキストを表示する

CD テキスト対応の音楽 CD 再生中に、ディスク名／トラック名などを表示させることができます。

MP3/WMA/AAC ファイルを再生中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示ができます。

iPod/iPhone の曲を再生中は、タグ情報を表示させることができます。

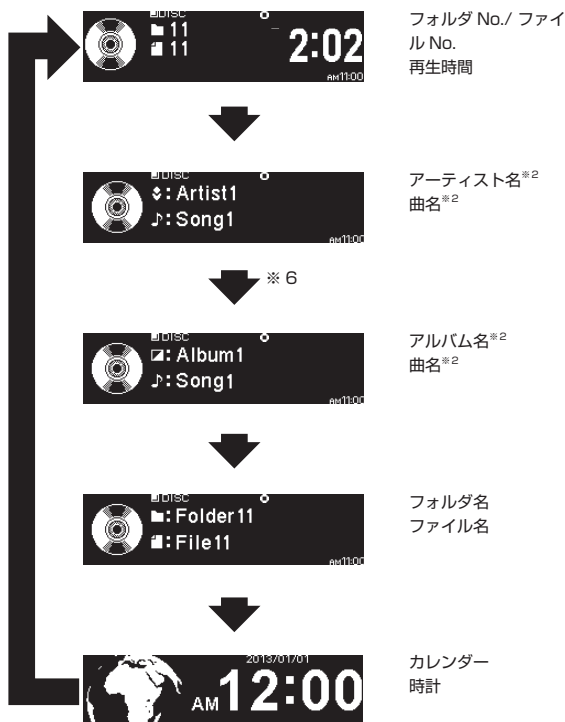
VIEW を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。

■ CD



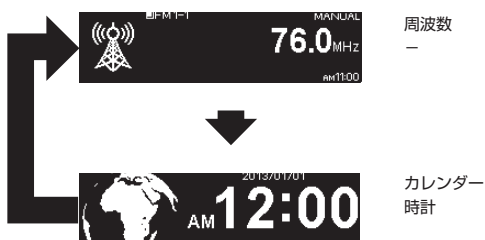
■ MP3/WMA/AAC



■ iPod/iPhone



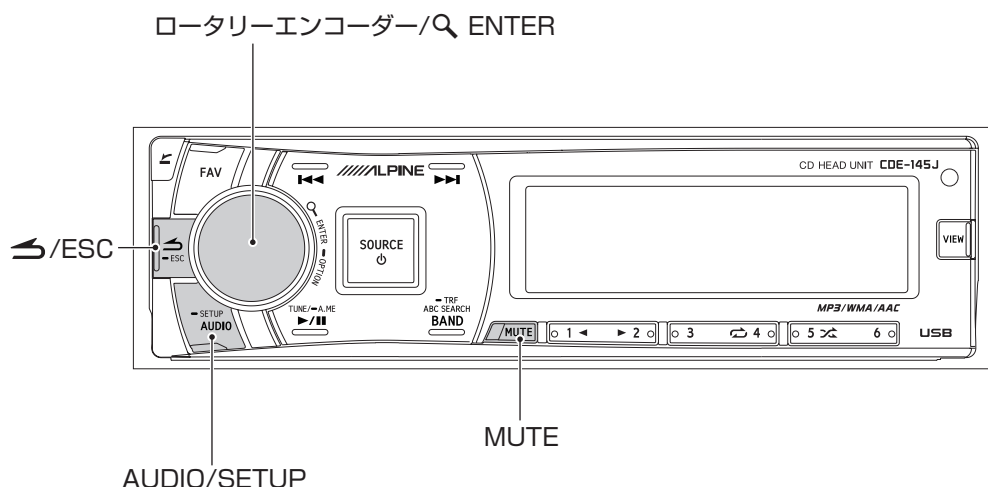
■ ラジオ



- ※ 1 CD テキストは 64 文字まで (64byte/1byte の場合) 表示できます。
- ※ 2 MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示されます。
MP3/AAC/WMA : 半角 32 文字 / 64byte まで (2byte の場合)
その他の情報や表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。
- ※ 3 タグ表示
- ※ 4 Podcast 再生時
- ※ 5 総曲数はサーチ内容により異なります。
- ※ 6 「テキストスクロール設定 (Text Scroll)」 (43 ページ) が Auto に設定されている場合は、「VIEW」を押しても切りかわりません。アーティスト名とアルバム名を自動で交互に表示します。

■ Memo

- 「タグ」「ルートフォルダ」については「用語説明」 (53 ページ) を参照してください。
- 表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。
- 本機で表示できない文字情報の場合、<No Support> と表示されます。
- CD テキスト/フォルダ名/ファイル名/タグ情報がない場合は、ブランク表示 (表示なし) になります。
- iTunes でアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。
250 文字以内に設定することをお勧めします。ただし、ヘッドユニットで表示可能な文字数は、64 文字 (64byte/1byte の場合) までとなります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- プレイリスト名を表示させることはできません。
- USBメモリ、MP3/WMA/AACルートフォルダは <\ROOT> 表示になります。



一時的に音量を下げる (ミュート)

MUTE を押す

< Mute ON >を表示し、瞬時に音量が下がります。



● 解除するには

MUTE を押す

ミュートが解除されます。

サウンド設定

サウンドの設定項目からさまざまな設定を行い自分好みのサウンドを創り出すことができます。

1 を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。

2 ● を廻す

< Audio >を選びます。

3 を押す

Audio 選択モードになります。

4 ● を廻す

設定項目を選択します。

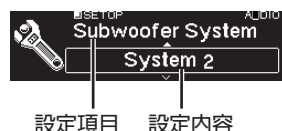


5 を押す

設定項目が決定されます。

6 ● を廻す

設定が切りかわります。



設定項目 設定内容

7 を 2 秒以上押す

通常モードに戻ります。

● サウンド設定項目一覧

設定項目	初期設定 (出荷時の設定)	参照ページ
Factory's EQ ^{*1/2}	Flat	30 ページ
Parametric EQ ^{*1/3}	—	30 ページ
VOL LV ADJ	—	32 ページ
Subwoofer	ON	32 ページ
Subwoofer Phase ^{*4}	0°	32 ページ
Subwoofer System ^{*4}	System 2	32 ページ
Power IC	ON	32 ページ
MX Setup ^{*1}	—	33 ページ
TCR Parameter ^{*1}	cm	33 ページ
T.Correcton ^{*1}	—	34 ページ
Spatial ^{*1}	OFF	35 ページ
X-Over ^{*1}	—	35 ページ

※ 1 「ディフェイト設定 (DEFEAT)」 (15 ページ) が ON のときは設定できません。

※ 2 Factory's EQ または Parametric EQ のどちらかを変更すると、他の設定にも反映されます。

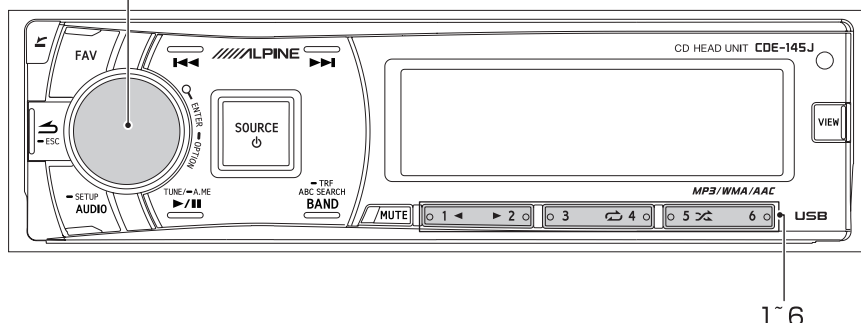
※ 3 手順 4 の中で、Parametric EQ から 9 つの Band (Band 1 ~ Band 9) を選択して、「●」を廻し変更する項目を選択します。その後、「Q ENTER」を押して、手順 5 を続けます。

※ 4 Subwoofer の設定が OFF のときは設定できません。

■ Memo

• 「 ESC」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。

ロータリーエンコーダー/ENTER



● イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ（Factory's EQ）

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定できます。

設定項目：Factory's EQ

設定内容：User / Flat(出荷時の設定) / Pops / Rock / News / Jazz & Blues / Electrical Dance / Hip Hop & Rap / Easy Listening / Country / Classical

■ Memo

- 「ディフェート設定 (DEFEAT)」(15 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- Factory's EQ またはパラメトリック EQ どちらかのみ使用することができます。

● パラメトリック EQ の調整と記憶

パラメトリック EQ は、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。

設定項目：Parametric EQ

設定内容：バンド選択／周波数設定／バンド幅 (Q) 設定／レベル調整／調整内容の記憶／記憶内容の呼び出し

1 Audio を選んで  を押す

2  を廻す

Parametric EQ を選びます。

3  を押す

4  を廻す

バンドを選びます。

5  を押す

バンドが決定され、周波数選択モードになります。

6  を廻す

周波数を選びます。

7  を押す

周波数が決定されてバンド幅 (Q) 選択モードになります。

8  を廻す

バンド幅 (Q) を選びます。

9  を押す

バンド幅 (Q) が決定されて、レベル選択モードになります。

10 手順 4 ～ 9 を繰り返し、各バンドのバンドの幅とレベル調整を行う

バンド選択

バンド (Band) を選びます。

設定内容：Band 1/Band 2/Band 3/Band 4/Band 5/
Band 6/Band 7/Band 8/Band 9

周波数設定

各バンドの周波数 (Freq.) を選びます。

設定内容：Band 1 20Hz ~ 100Hz
Band 2 63Hz ~ 315Hz
Band 3 125Hz ~ 500Hz
Band 4 250Hz ~ 1kHz
Band 5 500Hz ~ 2kHz
Band 6 1kHz ~ 4kHz
Band 7 2kHz ~ 7.2kHz
Band 8 5.8kHz ~ 12kHz
Band 9 9kHz ~ 20kHz

■Memo

- 隣り合うバンドの周波数を超えて設定することはできません。

バンド幅 (Q) 設定

各バンドのバンド幅 (Q) を設定します。

設定内容：3.0 (出荷時の設定)/4.0/5.0

レベル調整

各バンドのレベル (Level) を調整します。

設定内容：-7 ~ +7

■Memo

- バス/トレブルを調整するように Parametric EQ の Band2 をバス、Band8 をトレブルとしてレベルの切り換えを行うことができます。詳しくは、「サブウーファー/バス/トレブル/バランス/フェダー/ディフューズ/音量を調整する」(15 ページ) を参照ください。

調整内容の記憶

すべてのバンドの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1 のいずれかを 2 秒以上押す

< Protect > または < Replace > が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

Replace : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2 を廻す

< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとするときに変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3 を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (DEFEAT)」(15 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。
- 隣接帯域の周波数を超える設定はできません。
- Factory's EQ またはパラメトリック EQ どちらかのみ使用することができます。

記憶した内容の呼び出し

、、 のいずれかを押す

記憶した内容を演示します。

、、 のいずれかを再び押す

選択したプリセット No. を呼び出します。



● ソース別音量の調整

ソース毎に基準となる音量レベルを調整します。

設定項目：VOL LV ADJ

■ Tuner/Disc/USB/iPod/AUX の設定

設定内容：-14dB ~ +14dB

● サブウーファーの接続 (Subwoofer)

別売のサブウーファーを接続したときに設定します。

設定項目：Subwoofer

設定内容：ON (出荷時の設定) / OFF

ON : サブウーファー接続時に設定します。

OFF : サブウーファー未接続時に設定します。

● サブウーファー出力の位相設定 (Subwoofer Phase)

サブウーファー出力の位相 (0° / 180°) を切りかえます。お好みの音が得られる方を選んでください。

設定項目：Subwoofer Phase

設定内容：0° (出荷時の設定) / 180°

● サブウーファーの設定 (Subwoofer System)

別売のサブウーファーの効果を設定することができます。

設定項目：Subwoofer System

設定内容：System 1 / System 2 (出荷時の設定)

System 1 : 音量と連動してサブウーファー効果が得られます。

System 2 : 音量が低くてもサブウーファー効果が得られます。

● 外部アンプの接続 (Power IC)

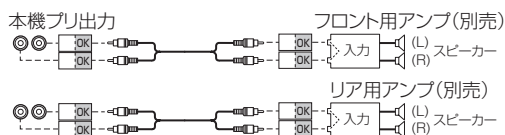
外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。そのときは OFF にしてください。

設定項目：Power IC

設定内容：ON (出荷時の設定) / OFF

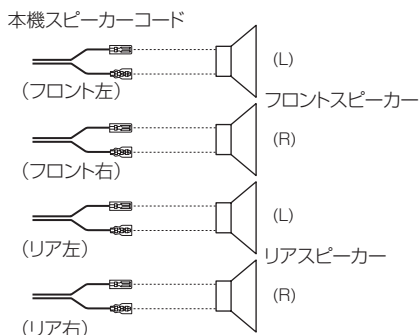
OFF :

本機のフロント／リア出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定します。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されません。



ON :

内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定します。

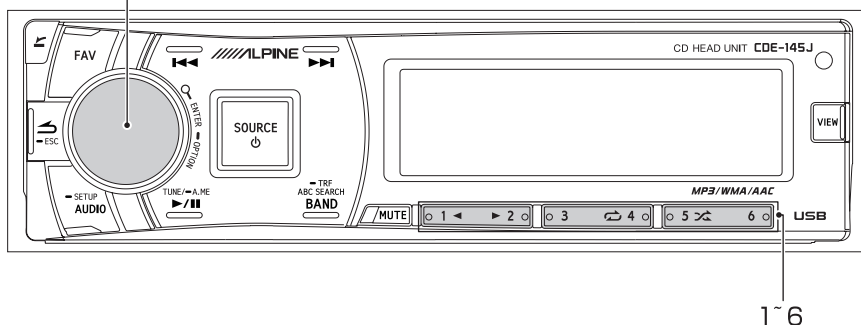


このシステムで OFF に設定すると音は出ません。

■ Memo

- サブウーファー用外部アンプのみ接続する場合は、ON に設定してください。

ロータリーエンコーダー/Q ENTER



60秒以内に操作

● MX モードの設定 (MX Setup)

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ /CD/ iPod/iPhone など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 ● を廻す

希望したいソースのMX (Media Xpander) を選びます。

設定内容：FM/CD/CMPPM^{*}/USB/iPod/AUX

^{*} ディスク内の MP3/WMA/AAC ファイルに適用されます。

2 ● を押す

3 ● を廻す

現在聴いている音楽モードのMX レベルを選びます。

設定内容：OFF/Level 1/Level 2/Level 3/Customize

4 ● を押す

MX レベルが確定される。

● MX(Media Xpander) の設定をカスタマイズする

手順3の中で、Customizeを選ぶ場合には、あなたの個人のお好みに合うようにMedia Xpanderを変更することができます。

5 ● を廻す

バンド (Band) を選びます。

設定内容：Band 1 (Bass)/Band 2 (Mid)/Band 3 (High)

6 ● を押す

7 ● を廻す

各バンドのレベル (Level) を調整します。

設定内容：0 ~ 8

8 ● を押す

9 さらに別のバンド (Band) を設定するには、手順5 ~ 8を繰り返す。

■ Memo

- 「ディフィート設定 (DEFEAT)」(15 ページ) がONのときは、操作を受け付けません。

● タイムコレクション調整単位の設定 (TCR Parameter)

タイムコレクションの時間補正值の単位を cm または inch に変更することができます。

設定項目：TCR Parameter

設定内容：cm (出荷時の設定) / inch

- cm : タイムコレクションの時間補正值の単位が「cm」になります。
- inch : タイムコレクションの時間補正值の単位が「inch」になります。

● タイムコレクションの設定と記憶

お好みのリスニングポジションへの音の到達時間差を設定します。操作の前に「タイムコレクション（時間補正）について」（37 ページ）を参照して、各スピーカーの距離を測定して設定します。

設定項目：T. Correction

設定内容：スピーカー選択／距離（時間）補正／調整内容の記憶／記憶内容の呼び出し

スピーカー選択

1 Audio を選んで  を押す

2  を廻す

T. Correction を選びます。

3  を押す

4  を廻す

スピーカーを選びます。

設定内容：F-L（左前スピーカー）／F-R（右前スピーカー）
／R-L（左後スピーカー）／R-R（右後スピーカー）
／SW-L（サブウーファー左）／SW-R（サブウーファー右）

5  を押す

スピーカーが決定されます。

6  を廻す

各スピーカーの距離を調整します。

設定内容：0.0cm ～ 336.6cm（3.4 step）
0.0inch ～ 132.7inch（1.3 step）

7  を押す

8 手順 4 ～ 7 を繰り返し、全てのスピーカーを設定する

■ Memo

- すべてのスピーカーの総距離は、510cm（201inch）以上に調整することはできません。

調整内容の記憶

すべてのスピーカーの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1  のいずれかを 2 秒以上押す

< Protect > または < Replace > が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

Replace : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2  を廻す

< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとするときに変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3  を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

記憶した内容の呼び出し

 のいずれかを押す

記憶した内容を演示します。

 のいずれかを再び押す

選択したプリセット No. を呼び出します。



● 音場の調整 (SPATIAL)

TCR (T.Correction) で使用している Delay Time を利用して、音場の位置をユーザーが簡単に変更できます。3つのモードがあります。詳細については、下の表を参照してください。

モード	効果
OFF (出荷時の設定)	スピーカー (Speaker) の距離補正以外何もしない。OFF 状態。
Front Wide	フロント (Front) の音を遅らせる事により前方の音場をさらに広げる効果。
Rear Wide	リアー (Rear) の音を遅らせる事により前方の音像を明確にかつ遠くに定位させる効果。

● X-Over (クロスオーバー) の調整と記憶

スピーカー特性に合った最適な音響空間を設定することができます。操作の前に、「X-Over について」(38 ページ)を参照してください。

設定項目：X-Over

設定内容：チャンネル選択／周波数選択／スロープ設定／レベル調整／調整内容の記憶／記憶内容の呼び出し

1 Audio を選んで  を押す

2  を廻す

X-Over を選びます。

3  を押す

4  を廻す

チャンネルを選びます。

5  を押す

チャンネルが決定されて、周波数選択モードになります。

6  を廻す

7  を押す

周波数が決定されて、スロープ選択モードになります。

8  を廻す

9  を押す

スロープが決定されて、レベル調整モードになります。

10 手順 4～9 を繰り返し、各チャンネルの周波数、スロープとレベル調整を行う。

チャンネル選択

チャンネルを選びます。

設定内容：Front / Rear / SUBW

周波数選択

周波数 (Freq) を選びます。

設定内容：20/25/31.5/40/50/63/80 (出荷時の設定)
/100/125/160/200 (Hz)

スロープ設定

スロープ (Slope) を設定します。

設定内容：Flat (出荷時の設定)/6(dB)/12(dB)/18(dB)/
24(dB)

レベル調整

レベル (Level) を調整します。

設定内容：-12～0

調整内容の記憶

すべてのバンドの調整が終了したら、調整した内容をプリセットボタンに記憶することができます。

1 、、 のいずれかを 2 秒以上押す

< Protect > または < Replace > が表示されます。

Protect : 初めて記憶する場合または前回記憶したときに < Protect > で NO を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されません。

Replace : 前回記憶したとき < Protect > で YES を選んで記憶させたプリセットボタンを選んだときに表示されます。

2 を廻す

< YES > または < NO > を表示させます。

Protect の場合

YES : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトがかかり、すでに記憶されている No. に記憶しようとすると変更するかどうかを確認するために手順 1 で < Replace > が表示されます。

NO : 設定を記憶します。記憶した内容にプロテクトはかかりません。

Replace の場合

YES : すでに記憶されている内容を書きかえて記憶します。

NO : すでに記憶されている内容を書きかえません。



3 を押す

押された No. に調整した内容が記憶されます。

Memo

- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。

記憶した内容の呼び出し

、、 のいずれかを押す

記憶した内容を演示します。

、、 のいずれかを再び押す

選択したプリセット No. を呼び出します。



タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正值の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

■具体例

右記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出する。

(条件) :

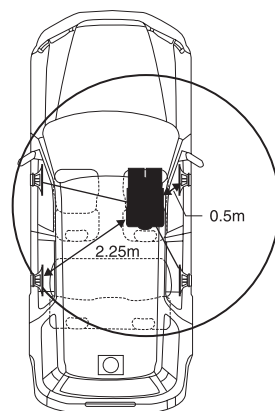
一番遠いスピーカー～リスニングポジション : 2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション : 0.5m

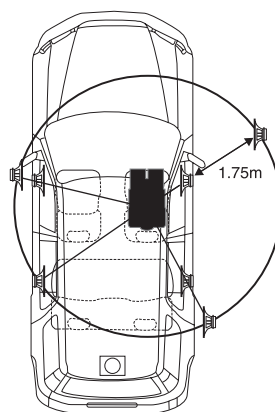
(算出) :

$$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$$

つまり、フロント右側スピーカーへ見かけの距離を持たせることで、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。右前スピーカーに 1.75m の距離（時間）補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

■時間差表

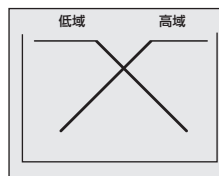
STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)
0	0.0	0.0	0.0	50	5.0	170.0	67.0
1	0.1	3.4	1.3	51	5.1	173.4	68.3
2	0.2	6.8	2.7	52	5.2	176.8	69.7
3	0.3	10.2	4.0	53	5.3	180.2	71.0
4	0.4	13.6	5.4	54	5.4	183.6	72.4
5	0.5	17.0	6.7	55	5.5	187.0	73.7
6	0.6	20.4	8.0	56	5.6	190.4	75.0
7	0.7	23.8	9.4	57	5.7	193.8	76.4
8	0.8	27.2	10.7	58	5.8	197.2	77.7
9	0.9	30.6	12.1	59	5.9	200.6	79.1
10	1.0	34.0	13.4	60	6.0	204.0	80.4
11	1.1	37.4	14.7	61	6.1	207.4	81.7
12	1.2	40.8	16.1	62	6.2	210.8	83.1
13	1.3	44.2	17.4	63	6.3	214.2	84.4
14	1.4	47.6	18.8	64	6.4	217.6	85.8
15	1.5	51.0	20.1	65	6.5	221.0	87.1
16	1.6	54.4	21.4	66	6.6	224.4	88.4
17	1.7	57.8	22.8	67	6.7	227.8	89.8
18	1.8	61.2	24.1	68	6.8	231.2	91.1
19	1.9	64.6	25.5	69	6.9	234.6	92.5
20	2.0	68.0	26.8	70	7.0	238.0	93.8
21	2.1	71.4	28.1	71	7.1	241.4	95.1
22	2.2	74.8	29.5	72	7.2	244.8	96.5
23	2.3	78.2	30.8	73	7.3	248.2	97.8
24	2.4	81.6	32.2	74	7.4	251.6	99.2
25	2.5	85.0	33.5	75	7.5	255.0	100.5
26	2.6	88.4	34.8	76	7.6	258.4	101.8
27	2.7	91.8	36.2	77	7.7	261.8	103.2
28	2.8	95.2	37.5	78	7.8	265.2	104.5
29	2.9	98.6	38.9	79	7.9	268.6	105.9
30	3.0	102.0	40.2	80	8.0	272.0	107.2
31	3.1	105.4	41.5	81	8.1	275.4	108.5
32	3.2	108.8	42.9	82	8.2	278.8	109.9
33	3.3	112.2	44.2	83	8.3	282.2	111.2
34	3.4	115.6	45.6	84	8.4	285.6	112.6
35	3.5	119.0	46.9	85	8.5	289.0	113.9
36	3.6	122.4	48.2	86	8.6	292.4	115.2
37	3.7	125.8	49.6	87	8.7	295.8	116.6
38	3.8	129.2	50.9	88	8.8	299.2	117.9
39	3.9	132.6	52.3	89	8.9	302.6	119.3
40	4.0	136.0	53.6	90	9.0	306.0	120.6
41	4.1	139.4	54.9	91	9.1	309.4	121.9
42	4.2	142.8	56.3	92	9.2	312.8	123.3
43	4.3	146.2	57.6	93	9.3	316.2	124.6
44	4.4	149.6	59.0	94	9.4	319.6	126.0
45	4.5	153.0	60.3	95	9.5	323.0	127.3
46	4.6	156.4	61.6	96	9.6	326.4	128.6
47	4.7	159.8	63.0	97	9.7	329.8	130.0
48	4.8	163.2	64.3	98	9.8	333.2	131.3
49	4.9	166.6	65.7	99	9.9	336.6	132.7

X-Over について

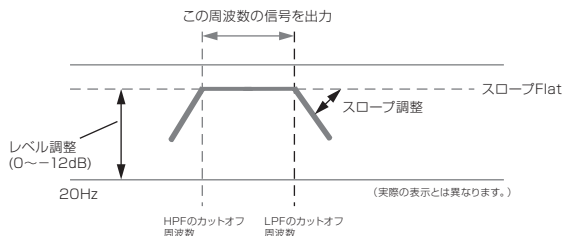
本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドのHPF（ハイパスフィルター）LPF（ローパスフィルター）の調整、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）、レベルを設定します。
接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	Flat(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	Flat(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロントハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	Flat(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



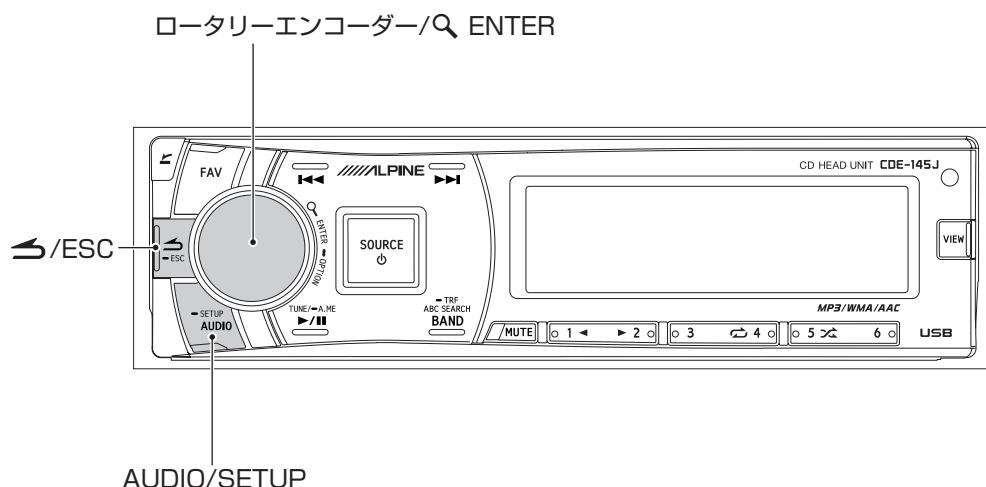
(実際の表示とは異なります。)



■Memo

- HPF (ハイパスフィルター) はある周波数より下の音域 (低域) をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF (ローパスフィルター) はある周波数より上の音域 (高域) をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- スロープとは周波数が 1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何 dB 減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- スロープを Flat(OFF) にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内で HPF と LPF の周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPF と LPF の周波数を超える調整はできません。

SET UP (セッアップ)



60秒以内に操作

セッアップ (SETUP) する

本機には、さまざまなセッアップ (SETUP) 機能が用意されています。自分好みの設定に変更してお使いください。

1 [AUDIO] を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。

2 [ENTER] を廻す

変更する設定項目を選びます。

Audio^{*} / General / Display / Tuner / iPod&USB



※ AUDIO Setup については、「サウンド設定項目一覧」(29 ページ) を参照してください。

3 [ENTER] を押す

選んだ項目の、設定項目選択モードになります。

4 [ENTER] を廻す

変更する設定項目を表示させます。



5 [ENTER] を押す

設定項目が決定されます。

6 [ENTER] を廻す

変更する設定項目を表示させます。



設定項目 設定内容

7 [AUDIO] を 2 秒以上押す

元のモードに戻ります。

● 設定項目一覧

設定項目	初期設定値 (出荷時の設定)	参照ページ
General		
Clock Mode	12Hour	41 ページ
Clock Adjust *1	2013 (年) /01 (月) /01 (日) /12 (時) /00 (分)	13 ページ
Calendar	yyyy/mm/dd	41 ページ
FAV Setup *2	OFF	14 ページ
AUX IN	ON	41 ページ
AUX Name *3	Auxiliary	41 ページ
Play Mode	CDDA&MP3/WMA	42 ページ
Beep	Level 4	42 ページ
Demo	OFF	42 ページ
DISPLAY		
Illumination	TYPE1	42 ページ
Dimmer	Auto	42 ページ
Dimmer Level	Level 1	42 ページ
Scroll Type	TYPE2	42 ページ
Text Scroll	Manual	43 ページ
Opening MSG	OFF	43 ページ
Tuner		
FM Tuner Setup	Normal	43 ページ
iPod&USB		
USB Skip	10 File	43 ページ
iPod List Setup	—	43 ページ

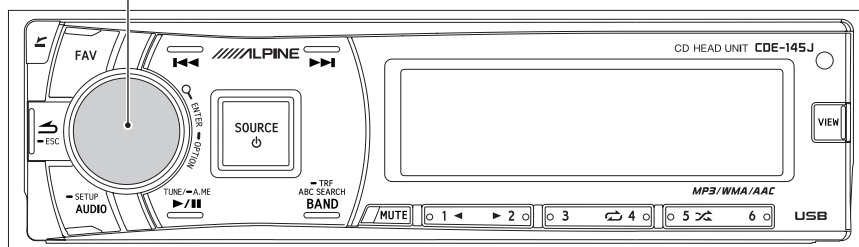
- ※ 1 Clock Adjust については、「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(13 ページ) を参照してください。
- ※ 2 FAV Setup については、「お気に入りのソースを設定する」(14 ページ) を参照してください。
- ※ 3 AUX IN が ON 時のみ設定することができます。

■ Memo

- セッティング中に「**ESC**」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- リセットしたときやバッテリー電源コードをはずした場合、一部の項目で設定した内容が初期設定値 (出荷時の設定) に戻ります。

SET UP (セッアップ)

ロータリーエンコーダー/Q ENTER



General

● 時刻表示の設定 (Clock Mode)

時刻表示のタイプを設定することができます。

設定項目：Clock Mode

設定内容：AM 12:00 (12HOUR) (出荷時の設定) / 00:00 (24HOUR)

AM 12:00 (例)：12 時間表示になります。

00:00 (例)：24 時間表示になります。

● カレンダー表示パターンの設定 (Calendar)

カレンダーの表示パターンをお好みに合わせ切りかえることができます。

カレンダー日付設定については「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(13 ページ) を参照してください。

設定項目：Calendar

設定内容：mm/dd/yyyy

dd/mm/yyyy

yyyy/mm/dd (出荷時の設定)

mm/dd/yyyy：月 / 日 / 年の順で表示されます。

dd/mm/yyyy：日 / 月 / 年の順で表示されます。

yyyy/mm/dd：年 / 月 / 日の順で表示されます。

● 外部入力の設定 (AUX IN)

外部デバイス (ポータブルプレーヤーなど) のオーディオを本機のリアー AUX コネクターに入力させることができます。

設定項目：AUX IN

設定内容：OFF/ON (出荷時の設定)

AUX IN を ON に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品名の表示名を選択してください。

1 ● を廻す

< AUX Name > を選びます。



2 ● を押す

3 ● を廻す

外部入力製品の表示名を「Auxiliary (出荷時の設定)」、「TV」、「DVD」、「Portable」、「Game」から選びます。

● MP3/WMA/AAC 再生データ設定 (Play Mode)

Enhanced CD (CD Extra) 形式で作成されたディスク (同じディスクにオーディオデータ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC データが混在するディスク) の場合、オーディオデータのみを再生するか、オーディオデータと MP3/WMA/AAC の両方とも再生するかを設定することができます。

■ Memo

- この設定は、ディスクを挿入する前に行ってください。既にディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。

設定項目 : Play Mode

設定内容 : CD-DA/CDDA&MP3/WMA (出荷時の設定)

CD-DA : オーディオデータのみを再生できます。

CDDA&MP3/WMA : オーディオデータと MP3/WMA/AAC 両方を再生できます。

● 操作音設定 (Beep)

ボタンを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けつけたことを伝えます。

設定項目 : Beep

設定内容 : OFF /Level 1/Level 2/Level 3/Level 4 (出荷時の設定) /Level 5/Level 6/Level 7

● デモンストレーション機能 (Demo)

本機には、表示の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

設定項目 : Demo

設定内容 : ON/OFF (出荷時の設定)

■ Memo

- デモンストレーションをご使用になったら、必ず OFF に設定して解除してください。

Display

● 照光ボタンの色設定 (Illumination)

照光ボタンの色を切りかえることができます。

設定項目 : Illumination

設定内容 : TYPE1 (出荷時の設定) /TYPE2/TYPER3/TYPER4

TYPE1 : 青色 (照光ボタン) /青色 (その他)

TYPE2 : 緑色 (照光ボタン) /緑色 (その他)

TYPE3 : 橙色 (照光ボタン) /橙色 (その他)

TYPE4 : 赤色 (照光ボタン) /赤色 (その他)

● ディスプレイの明るさ調整 (Dimmer)

ヘッドライト点灯に合わせて、ディスプレイの明るさを変更できます。夜間、照光ボタンやディスプレイが明るすぎる場合には Auto にすることをお勧めします。

設定項目 : Dimmer

設定内容 : Auto (出荷時の設定) /Manual

Auto : ヘッドライトを点灯すると、照光ボタン/ディスプレイが減光します。

Manual : ヘッドライトを点灯しても照光ボタン/ディスプレイは減光しません。

■ Memo

- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。

● ディスプレイの明るさレベルを調整する (Dimmer Level)

本機は、ディスプレイと照光ボタンの明るさを調整することができます。例えば、夜間走行時に画面の明るさを調整するときなどに使います。

Level1 → Level3 の順に、ディスプレイとボタンの明るさは暗くなります。

設定項目 : Dimmer Level

設定内容 : Level1 (出荷時の設定) /Level2/Level3

● スクロールタイプ設定 (Scroll Type)

テキスト情報やタグ情報などを表示させたときのスクロールタイプを設定できます。

設定項目 : Scroll Type

設定内容 : TYPE1 / TYPE2 (出荷時の設定)

TYPE1 : ディスプレイ右側から次々と文字が表示され、スクロールする。

TYPE2 : ディスプレイ左側から1文字ずつ表示され、1画面分表示されたら左側から1文字ずつスクロールして消える。

● テキストスクロール設定 (Text Scroll)

タイトルやテキスト情報、タグ情報などを表示させたときのスクロールタイプを設定できます。

設定項目：Text Scroll

設定内容：Manual（出荷時の設定）/Auto

Manual：最初の一度だけスクロールします。

Auto：繰り返しスクロールします。

● オープニングメッセージの ON/ OFF (Opening MSG)

本機には、いくつかのオープニングメッセージが用意されています。例えば、オープニングメッセージを ON にした場合、本機の日付が 12 月 25 日のときに本機の電源を ON にすると、クリスマス用のオープニングメッセージが表示されます。

カレンダー日付設定については「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(13 ページ) を参照してください。

設定項目：Opening MSG

設定内容：ON/OFF（出荷時の設定）

Tuner

● TUNER(FM) 音質設定 (FM Tuner Setup)

FM ラジオの音質を設定することができます。

設定項目：FM Tuner Setup

設定内容：HiFi / Normal（出荷時の設定）/ Stable

HiFi：音質重視設定

Normal：標準設定

Stable：ノイズを抑えた設定

■ Memo

- HiFi 設定を使用の際、受信状態によってはノイズが目立つ場合があります。この様なときには Normal 設定での使用をお勧めします。

iPod & USB

● USB メモリスキップの設定

サーチモード時に、「1◀」、「▶2」を 2 秒以上押すと「USB メモリスキップの設定」で設定したフォルダ / ファイルをスキップすることができます。

例えば、「USB メモリスキップの設定」で「10File」に設定した場合、「1◀」を 2 秒以上押すと、現在のフォルダ / ファイルより前 10 個のフォルダ / ファイルをスキップすることができます。

「▶2」を 2 秒以上押すと、現在のフォルダ / ファイルより後 10 個のフォルダ / ファイルをスキップすることができます。USB メモリのフォルダ / ファイル数が USB メモリスキップの設定数より少ない場合は、「1◀」、「▶2」を 2 秒以上押すと最初または最後のフォルダ / ファイルにスキップする場合があります。

設定項目：USB Skip

設定内容：10File（出荷時の設定）/ 20File / 50File / 100File

● iPod/iPhone サーチモードの設定

iPod/iPhone を 9 つのサーチモードで検索することができます。使用しないサーチモードは OFF に設定することもできます。

設定項目：iPod List Setup

■ Playlists / Artists / Albums / Podcasts / Genres / Songs / Genius Mixes の設定

設定内容：ON（出荷時の設定）/ OFF

■ Audiobooks / Composers の設定

設定内容：ON / OFF（出荷時の設定）

■ Memo

- サーチモードについては、「聴きたい曲を探す」(22 ページ) を参照してください。



取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～4ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・ RCA コード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用される RCA 考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

- 9) スピーカーの接続
 - 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
 - スピーカーは、インピーダンスが $3.2 \sim 8 \Omega$ のものをお使いください。
- 10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 11) 取り付け場所について

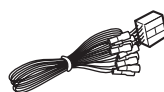
ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 12) 水平に対して 35 度以内に取り付けてください。
- 13) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。

- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード



サラネジ
(M5 × 8)



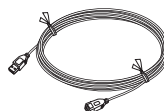
× 4

バインドネジ
(M5 × 8)



× 4

USB ケーブル (1.5m)



3. バッテリーのマイナス端子を外す。
4. 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
5. 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
6. オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、4. 取り付けるの手順2で利用します。)

3. 接続する

- 46 ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに ✓ 点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓ 点があるかを確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーを ON にして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

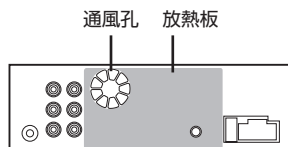
4. 取り付ける



注意

通風孔や放熱板をふさがない。

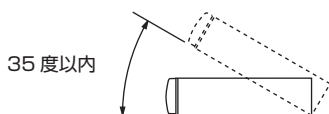
通風孔・放熱板をふさがないでください。通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



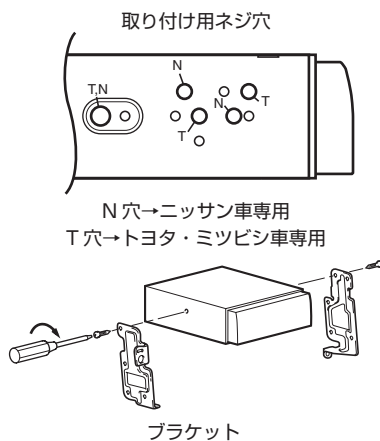
＜本機裏側＞

取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. CD の出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。

シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

6. バッテリーマイナス端子を接続する。

Memo

- 車両雑音から守るために
- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードと PIN コードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

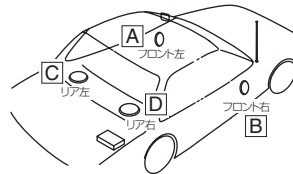
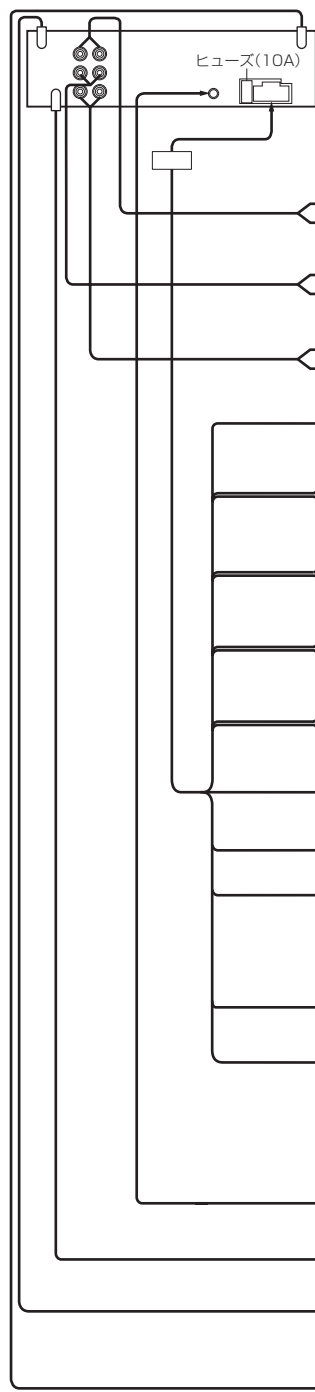
5. 確認する

1. イグニッションキーを ON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



取り付けと接続

● 基本接続図



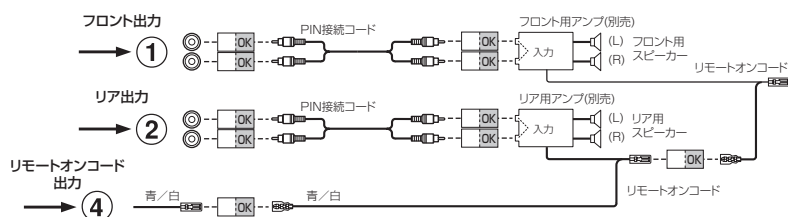
コード色	コード仕様	接続先
(L) 白 (R) 赤	● フロント出力/入力端子 フロント左右のプリアンプ信号を出力、またはフロント左右の信号を入力します。	アンプなど追加の際に使用 ①
(L) 白 (R) 赤	● リア出力/入力端子 リア左右のプリアンプ信号を出力、またはリア左右の信号を入力します。	アンプなど追加の際に使用 ②
(L) 白 (R) 赤	● サブウーファー出力コード サブウーファー用信号を出力します。 サブウーファーを接続するときは、Subwooferの接続(32ページ)をONに設定してください。	サブウーハー追加の際に使用 ③
青/白	● リモートオンコード 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。	アンプ追加の際に使用 ④
白 白/黒	● スピーカーコード(フロント左) フロント左スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。)	フロント左のスピーカーに接続 A
灰 灰/黒	● スピーカーコード(フロント右) フロント右スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。)	フロント右のスピーカーに接続 B
緑 緑/黒	● スピーカーコード(リア左) リア左スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。)	リア左のスピーカーに接続 C
紫 紫/黒	● スピーカーコード(リア右) リア右スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2~8Ωのものを使用してください。)	リア右のスピーカーに接続 D
橙	● イルミネーションコード スモールランプなどのライトに連動して照光ボタンとディスプレイの照明の明暗切りかえを行います。	車のスモールライトコードに接続
赤	● ACC電源コード エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が供給されるコードに接続
黄	● バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。 通常、車のバッテリーコードの接続で十分ですが、さらに良い音で楽しみたいときは、直接車側のバッテリーに配線すると良いでしょう。 詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される(バッテリー電源プラス)コードに接続
黒	● アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車体に接続
青	● パワーアンテナ/ブースターコード ラジオのON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。 また、ウィンドウシルドアンテナなどブースターが付いている車輛はブースター電源としても使うことができます。 (ブースターが付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が極端に悪くなります。)	車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続
○	● ステアリングリモコンコネクター 車のステアリングリモコンで操作するときに使用します。	リモートコントロール・インターフェイス・ボックスと接続
□	● アンテナソケット アンテナからの信号を受けるコードです。	車のアンテナプラグに接続
□	● AUX入力コネクター AUXまたはシステムアップするときに使用します。	外部デバイス(ポータブルプレーヤー) (別売)などと接続 ⑤
□	● USBコネクター USBメモリ (別売) または iPod/iPhone (別売) とシステムアップするときに使用します。	付属のUSBケーブルを接続 ⑥

■ Memo

- 上記接続先の丸番号は、**6. システムアップの例**で使用します。

● システムアップの例

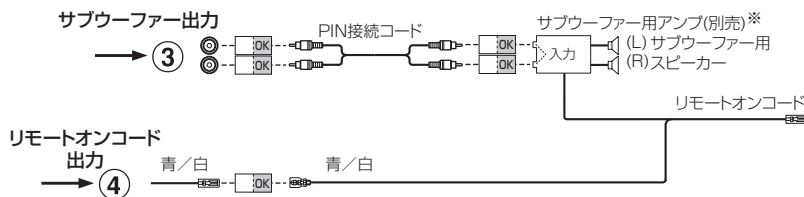
1) 外部アンプを接続する



■ Memo

- 外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプの接続 (Power IC)」(32 ページ) を参照してください。

2) サブウーファアンプを接続する

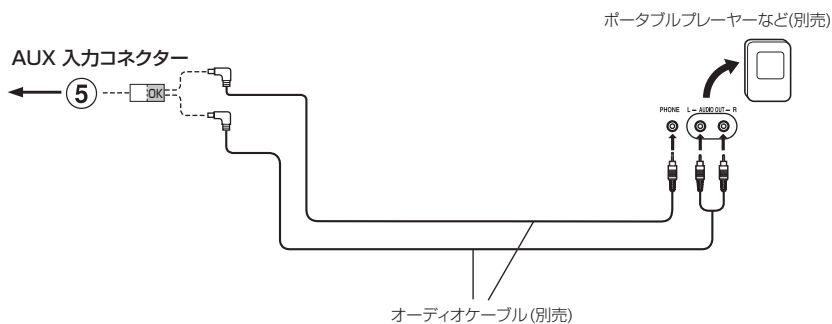


※必要に応じて、ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

■ Memo

- 「サブウーファアの接続 (Subwoofer)」(32 ページ) を参照してください。

3) 外部入力にポータブルプレーヤーなどを接続する



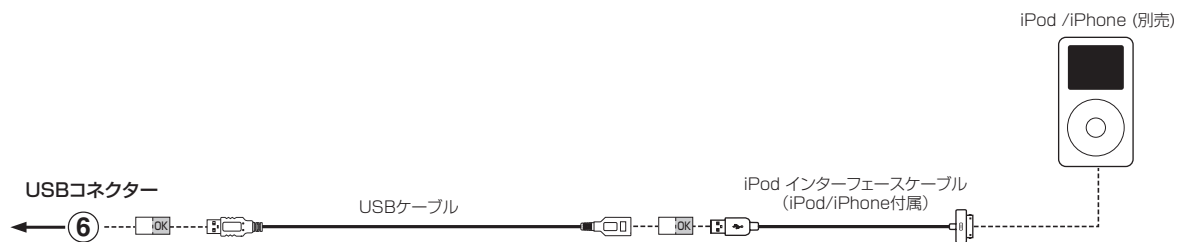
■ Memo

- 「外部入力の設定 (AUX IN)」(41 ページ) を参照してください。

次ページに続く →



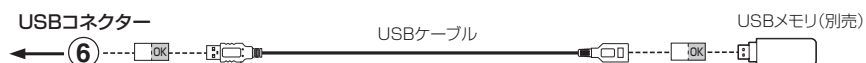
4)「iPod/iPhone」を USB 接続する



■ Memo

- 付属の USB ケーブルと iPod インターフェースケーブルをご使用ください。
- 付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。

5)「USB メモリ」を接続する



■ Memo

- 本機付属の USB ケーブルをご使用ください。
- 本機付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。
- USB ケーブルは他のコード類から離して配線してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



接続・配線は正しく行われていますか？



下の表をもう一度ご確認ください。



それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P52）にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源を OFF → ON してください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行なってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。（→ P46）
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→ P10）

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。（→ P15）
- ミュートが ON になっている。
 - ・ ミュートを解除する。（→ P29）
- フェダーの設定が適切でない。
 - ・ 2 スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。（→ P15）

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。（→ P13、26、40）
- バッテリーコードの接続ミス
 - ・ 接続を確認する。（→ P46）

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

サウンド調整ができない。

- ディフィート設定が ON になっている。
 - ・ ディフィート設定を OFF にする。（→ P15）

サブウーファースの音が出ない。

- サブウーファースの設定が OFF になっている。
 - ・ サブウーファースの設定を ON にする。（→ P32）
- サブウーファース出力の調整を行っていない。
 - ・ サブウーファース出力の調整を行う。（→ P32）

表示が勝手に切りかわる。

- デモンストレーション機能が ON になっている。
 - ・ OFF に設定する。（→ P42）

CD 部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り／早戻しができない。

- 車内温度が 50℃ 以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。
 - ・ 録音状態が良くない。
 - ・ 音楽用ディスクでない。
 - ・ 本機対応のディスクでない。
 - ・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→ P52）
 - ・ ご自分でメンテナンスをする場合は、必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）のレンズクリーナーを使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面／センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RW が再生できない。

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
 - ・ クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3/WMA/AAC が演奏されない。

- 書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている。
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AAC について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→ P53）
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
 - ・ 他のソフトで試してみる。

iPod/iPhone 部

iPod/iPhone が再生しない。／iPod/iPhone の音が出ない。／USB iPod モード時、本機表示が < Searching > になったまま再生できない。

- iPod が認識されない。
 - ・ 本機と iPod をリセットする。（→ P10）
 - ・ iPod のリセットについては、iPod ユーザーズガイドを参照してください。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ / プースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。（→ P26）
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→ P25）

メッセージが表れたら… (CD 部)

No Disc	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。 ● ディスクは入っているが、<No Disc>と表示され、演奏または、イジェクトができない。 ・ 次の方法でディスクを取り出す。 ① 「E」を押す。 - 可動ディスプレイが開く。 ② 可動ディスプレイが開いた状態で「A」を2秒以上押す。
Error	● ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／音楽用ディスクでない。 ・ 「A」を押して、ディスクを交換する。 ● メカニズムエラー。 ① 「A」を押して、ディスクを取り出す。 - イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。 ② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「A」を押す。 ③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
Protect	● コピープロテクト（著作権保護）されているWMA ファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
Unsupported	● 本機指定の MP3/WMA/AAC フォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら… (iPod/iPhone 部(オプション))

No USB Unit	● iPod/iPhone が接続されていない。 ・ iPod/iPhone が正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
No Song	● iPod/iPhone に曲（ファイル）が入っていない。 ・ iPod/iPhone に曲（ファイル）を転送してから接続する。
Error-01	● 通信エラーまたはブートエラーなど。 ・ 一度本機から iPod/iPhone を外し、再接続する。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error-02	● iPod/iPhone のバージョンが古いです。 ・ iPod/iPhone のバージョンを更新する。
Error-03	● iPod/iPhone が認証されていない。 ・ 一度本機から iPod/iPhone を外し、再接続する。
Current Error	● USB 端子接続機器に異常な電流が流れている（本機動作対象外の USB 機器を接続すると表示される可能性があります）。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。

メッセージが表れたら… (USB メモリ部)

Current Error	● USB 端子接続機器に異常な電流が流れている（本機動作対象外の USB 機器を接続すると表示される可能性があります）。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
USB Device Error	● 本機対象外の USB 製品が接続されている。 ・ 本機対象の USB メモリを接続する。
No USB Unit	● USB メモリが接続されていない。 ・ USB メモリが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
No Song	● USB メモリに曲（ファイル）が入っていない。 ・ USB メモリに曲（ファイル）を書き込んでから接続する。
Unsupported	● 本機指定の MP3/WMA/AAC フォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。
Protect	● コピープロテクト（著作権保護）されているWMA ファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
Error-01	● データベースエラーまたはデコーダーエラー。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。
Error-02	● 通信エラーまたはブートエラーなど。 ・ 一度本機から USB メモリを外し、再接続する。 ・ 別の音楽モードを切りかえる。 ・ USB メモリのファイルシステムを変更する。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522 ~ 1,629kHz FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V FM ; 0.8 μ V (75 Ω) :9.3dBf (新 IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 35dB 以上
SN 比	FM ; 65dB 以上
イメージ妨害比	FM ; 80dB 以上
IF 妨害比	FM ; 80dB 以上

CD 部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz ($\pm$ 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN 比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

USB 部

USB 規格	USB 1.1 / 2.0
最大供給電流	スマートフォン充電対応
USB クラス	マストレージクラス対応
ファイルシステム	FAT 12/16/32
MP3 デコード	MPEG AUDIO Layer-3 準拠
WMA デコード	Windows Media™ Audio 準拠
AAC デコード	AAC-LC 形式 “.m4a” ファイル
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性 ^{*1}	5Hz ~ 20kHz ($\pm$ 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN 比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上

※ 1 周波数特性はエンコーダソフト/ビットレートにより異なる場合があります。

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	50W $\times$ 4
音声出力レベル	ブリアウト : 2V / 10K Ω (最大) (フロント/リア/サブウーファー)
外形寸法	178 (幅) $\times$ 50 (高さ) $\times$ 161.5 (奥行) mm
重量	1.26 kg

・ Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または 52 ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または 52 ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

- ・ “Made for iPod,” and “Made for iPhone,” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- ・ iPhone,iPod,iPod classic,iPod nano,iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson. Supply of this product only conveys a licence for private, non-commercial use and does not convey a licence nor imply any right to use this product in any commercial (i.e. revenue-generation) real time broadcasting (terrestrial, satellite, cable and/or any other media), broadcasting/streaming via internet, intranets and/or other networks or in other electronic content distribution systems, such as pay-audio or audio-on-demand applications. An independent licence for such use is required. For details, please visit <http://www.mp3licensing.com>.

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
（一部回線でつながらない場合があります。）
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL：048-662-6636

- 電話受付時間（日、祝日、弊社休業日を除く）
月～金：9：30～17：30
土曜日：9：30～12：00 13：00～17：00
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタムサービス（株） 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタムサービス（株） 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3-18-14	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

MP3/WMA/AAC について

注意 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMA/AAC データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3 とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体の ISO と IEC の共同活動機関である MPEG が定めた圧縮規格です。

MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。

また、CD クオリティに近い音質を実現しても約 1/10 の圧縮率を得ることができます。

(サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 128kbps の場合)

このような高圧縮率を実現している MP3 フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMA とは？

WMA または「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。

WMA は MP3 オーディオデータと同様に小さいファイルサイズで音声ファイルを作成・保存することができます。

AAC とは？

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。

MP3/WMA/AAC へ圧縮する方法

MP3/WMA/AAC 専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照してください。

また、本機で再生可能な MP3/WMA/AAC ファイルの拡張子は「mp3」/「wma」/「m4a」です。(WMA は Ver.7、8、9 に対応)

■ 注意

- AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3/AAC : 8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

WMA : 32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート

MP3 : 8kbps ~ 320kbps、WMA: 32kbps ~ 192kbps

AAC : 16kbps ~ 320kbps

ただし、サンプリングレートとビットレートの組み合わせによっては正常に再生されない場合があります。

USB メモリ時、VBR (Variable Bit Rate) で記録されたファイルを再生したとき、正確な再生時間を表示できない場合があります。

上記記載以外は動作を保証しかねます。

ID3 タグ / WMA タグについて

ID3 タグは、ID3 Tag v1、v2 に対応しています。

MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル (曲名)、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

100% 対応しない文字の場合に <No Support> と表示されます。

それ以外の状況で対応しない文字はブランク表示です。

また、ID3 タグ情報に文字以外の情報が含まれている場合、その音楽ファイルは再生できない場合があります。

MP3/WMA/AAC を作成するには

MP3/WMA/AAC ファイルを用意し、USB メモリまたは CD-R ライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RW メディアに書き込みます。

ディスクの場合、ファイル/フォルダ数 (ルートフォルダを含めて) は、合わせて 509 個まで、最大フォルダ数は 255 個です。

USB メモリの場合、ファイル/フォルダ数 (ルートフォルダを含めて) は、最大フォルダ数は 1,000 個、最大ファイル数は 1,000,000 個です。また、1 ファイルの再生時間が 1 時間を超えるファイルは作成しないでください。

上記の制限以外で書き込まれた USB メモリまたはディスクは、再生できない場合があります。

MP3 作成ソフトの 1 部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合は他のライティングソフトを使用して MP3 フォルダ (ファイル) のみを記録してください。

対応メディア

再生できるメディアは、USB メモリ、CD-ROM、CD-R、CD-RW です。

対応ファイルシステム

ISO9660 レベル 1、レベル 2 でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660 規格では、フォルダのディレクトリ階層 (最大 8 階層) やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で使える文字 (A~Z、0~9、_ (アンダーバー)) などの制限があります。

また、Romeo、Joliet などの ISO9660 準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

USB メモリは、FAT 12/16/32 に対応しています。

対応フォーマット

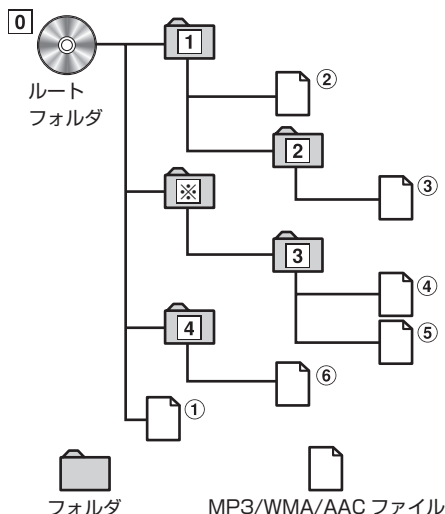
CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD (CD-Extra)、及びマルチセッションに対応しています。

但し、Track At Once やバケットライトで作成された CD の場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。(実際に表示される番号ではありません)



※ ファイルが入っていない空のフォルダは、フォルダ No./ フォルダ名は表示されません。

用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを 1 秒間に何回サンプリング (記録) するかを示す値のことで、たとえば、音楽 CD は 44.1kHz で、1 秒間にデータを 4 万 4100 回サンプリング (記録) していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽 CD や WAVE ファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMA/AAC ファイルに書き込まれた楽曲情報。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。すべてのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

索引

●五十音順

あ 行

アルファベットサーチ機能	23
エンコード	53
オートメモリー	26
お問い合わせ窓口	52
音量調整	15
お気に入りのソースを設定する	14

か 行

オプションメニュー設定	14
各部の名称	9
カレンダー／時計を調整する	13
規格	51
故障かな？と思ったら	49

さ 行

サブウーファー調整	15
サンプリングレート	53
システムアップの例	47
シャッフル	21
スクロール	27
セットアップ	39

た 行

タイムコレクション	33
ダイレクトサーチ機能	18、23
ダイレクト UP/DOWN 機能	24
タグ	53
ディフューズ設定	15
テキスト	27、43
電源の ON/OFF	10
道路交通情報	26
取り扱い上のご注意	3、4
取り付けと接続	44
トラブル調整	15

は 行

バス調整	15
パラメトリック EQ	30
バランス調整	15
ビットレート	53
ファイルサーチ	17
フェダー調整	15
フォルダサーチ	17
保証について	51
ボタン名称	9
本書の見方	6

ま 行

ミックス	16、21
ミュート	29

や 行

用語説明	53
------------	----

ら 行

ラジオ	25
リセット	10
リピート	17、21
ルートフォルダ	53

● アルファベット

A to Z

AAC.....	16、53	iPod/iPhone	20
Album サーチ.....	22	iPod List Setup.....	43
Artist サーチ.....	22	M.I.X.	16、21
Audiobook サーチ	22	MP3.....	16、53
AUTO MEMORY	26	MP3/WMA/AAC について.....	53
AUX IN.....	41	Opening MSG	43
BALANCE.....	15	Playlist サーチ	22
BASS.....	15	Play Mode.....	42
Beep	42	Podcast サーチ	22
Clock Mode	41	Power IC.....	32
Calendar	41	REPEAT	17、21
CD	16	Scroll Type	42
CD テキストサーチ	18	SETUP	39
Clock Adjust	13	Subwoofer	15、32
Clock Mode	41	Subwoofer. Phase	32
Composer サーチ	24	Subwoofer. System.....	32
DEFEAT	15	Text Scroll	43
Demo	42	TREBLE	15
Dimmer	42	TRF.....	26
Factory's EQ	30	USB メモリ	16
FADER	15	USB Skip.....	43
FM Tuner Setup.....	43	VOLUME.....	15
FAV Setup.....	40	WMA.....	16、53
Genre サーチ	22	X-Over	38
Illumination.....	42		

[illegible]

[illegible]

[illegible]

MEMO

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

充実したサポートとサービスのためには是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター

＜一般回線ご利用のお客様用＞

TEL：0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

（一部回線でつながらない場合があります。）

＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞

TEL：048-662-6636

● 電話受付時間 9：30～12：00、13：00～17：30（土日、祝日、弊社休業日を除く）

● 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。

FAX：048-662-6676

● アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

FAQ（よくあるご質問） <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-736)

68-21627Z95-A